

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2023年5月31日提出
【発行者名】	大和アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小松 幹太
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【事務連絡者氏名】	西脇 保宏 連絡場所 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【電話番号】	03-5555-3431
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり） ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】	各ファンドについて10兆円を上限とし、合計で20兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当ありません。

第一部【証券情報】

(1)【ファンドの名称】

ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）

ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）

（注1）以下「当ファンド」という場合、上記を総称して、またはそれぞれを指しているものとします。

（注2）上記を、それぞれ「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」という場合があります。

（注3）上記の総称を「ダイワ債券コア戦略ファンド」とします。

(2)【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託（契約型）の受益権です。

信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付はありません。また、提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付もありません。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

(3)【発行（売出）価額の総額】

各ファンドについて10兆円を上限とし、合計で20兆円を上限とします。

(4)【発行（売出）価格】

1万口当たり取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

基準価額は、販売会社または下記にお問合わせ下さい。

大和アセットマネジメント株式会社

電話番号（コールセンター） 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

ホームページ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

(5)【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、3.3%（税抜3.0%）となっています。

具体的な手数料の料率等については、販売会社にお問合わせ下さい。

申込手数料には、消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

<スイッチング（乗換え）について>

- ・「為替ヘッジあり」の受益者が、保有する受益権を換金した手取金をもって「為替ヘッジなし」の受益権の取得申込みを行なうこと、および「為替ヘッジなし」の受益者が、保有する受益権を換金した手取金をもって「為替ヘッジあり」の受益権の取得申込みを行なうことをいいます。
- ・スイッチング（乗換え）の申込みの際には、換金の申込みを行なうファンドと、取得の申込みを行なうファンドをご指示下さい。
- ・スイッチング（乗換え）にかかる申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は、スイッチング（乗換え）の金額から差引かせていただきます。



(6) 【申込単位】

販売会社にお問合わせ下さい。

(7) 【申込期間】

2023年6月1日から2023年11月30日まで（継続申込期間）

（終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。）

(8) 【申込取扱場所】

下記にお問合わせ下さい。

大和アセットマネジメント株式会社

電話番号（コールセンター） 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

ホームページ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

(9) 【払込期日】

受益権の取得申込者は、販売会社が定める期日（くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。）までに、取得申込代金（取得申込金額、申込手数料および申込手数料に対する消費税等に相当する金額の合計額をいいます。以下同じ。）を販売会社において支払うものとします。

販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

(10) 【払込取扱場所】

受益権の取得申込者は、取得申込代金を、申込取扱場所において支払うものとします。申込取扱場所については、前(8)をご参照下さい。

(11) 【振替機関に関する事項】

振替機関は下記のとおりです。

株式会社 証券保管振替機構

(12)【その他】

該当事項はありません。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、米ドル建ての複数種別の債券等に投資することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

一般社団法人投資信託協会による商品分類・属性区分は、次のとおりです。

商品分類表

〈ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）〉

〈ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）〉

単位型投信・追加型投信	投資対象地域	投資対象資産（収益の源泉）
単位型投信	国内	株式
追加型投信	海外	債券
	内外	不動産投信
		その他資産 ()
		資産複合

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

属性区分表 〈ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）〉

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式	年1回	グローバル (含む日本)		
一般 大型株 中小型株	年2回	日本		
債券	年4回	北米	ファミリー ファンド	あり (フルヘッジ)
一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ()	年6回 (隔月)	欧州		
不動産投信	年12回 (毎月)	アジア		
その他資産 (投資信託証券) (債券 一般)	日々	オセアニア	ファンド・オブ・ ファンズ	なし
資産複合 ()	その他 ()	中南米		
資産配分固定型 資産配分変更型		アフリカ		
		中近東 (中東)		
		エマージング		

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

属性区分表〈ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）〉

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル (含む日本)		
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ()	年2回	日本		
	年4回	北米	ファミリー ファンド	あり ()
	年6回 (隔月)	欧州		
	年6回 (隔月)	アジア		
	年12回 (毎月)	オセアニア		
不動産投信 その他資産 (投資信託証券) (債券 一般)	年12回 (毎月)	中南米		
資産複合 ()	日々	アフリカ	ファンド・オブ・ ファンズ	なし
資産配分固定型 資産配分変更型	その他 ()	中近東 (中東)		
		エマージング		

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

(注1) 商品分類の定義

単位型・追加型	単位型	当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行なわれないファンド
	追加型	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行なわれ従来の信託財産とともに運用されるファンド
投資対象地域	国内	目論見書または投資信託約款（以下「目論見書等」といいます。）において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	海外	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	内外	目論見書等において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの
投資対象資産	株式	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるもの
	債券	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるもの
	不動産投信（リート）	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるもの
	その他資産	目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式、債券、不動産投信（リート）以外の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	資産複合	目論見書等において、株式、債券、不動産投信（リート）およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの

独立区分	MMF（マネー・マネージメント・ファンド）	「MMF等の運営に関する規則」に定めるMMF
	MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	「MMF等の運営に関する規則」に定めるMRF
	ETF	投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号および第2号に規定する証券投資信託ならびに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託
補足分類	インデックス型	目論見書等において、各種指数に連動する運用成果をめざす旨の記載があるもの
	特殊型	目論見書等において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるもの

(注2) 属性区分の定義

投資対象資産	株式	一般	大型株、中小型株属性にあてはまらないすべてのもの
		大型株	目論見書等において、主として大型株に投資する旨の記載があるもの
		中小型株	目論見書等において、主として中小型株に投資する旨の記載があるもの
	債券	一般	公債、社債、その他債券属性にあてはまらないすべてのもの
		公債	目論見書等において、日本国または各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含みます。）に主として投資する旨の記載があるもの
		社債	目論見書等において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるもの
		その他債券	目論見書等において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるもの
		格付等クレジットによる属性	目論見書等において、特にクレジットに対して明確な記載があるもの
	不動産投信	目論見書等において、主として不動産投信（リート）に投資する旨の記載があるもの	
	その他資産	目論見書等において、主として株式、債券、不動産投信（リート）以外に投資する旨の記載があるもの	
	資産複合	目論見書等において、複数資産を投資対象とする旨の記載があるもの	
	資産複合 資産配分固定型	目論見書等において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるもの	
	資産複合 資産配分変更型	目論見書等において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行なう旨の記載があるものもしくは固定的とする旨の記載がないもの	
決算頻度	年1回	目論見書等において、年1回決算する旨の記載があるもの	
	年2回	目論見書等において、年2回決算する旨の記載があるもの	
	年4回	目論見書等において、年4回決算する旨の記載があるもの	
	年6回（隔月）	目論見書等において、年6回決算する旨の記載があるもの	
	年12回（毎月）	目論見書等において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるもの	
	日々	目論見書等において、日々決算する旨の記載があるもの	
	その他	上記属性にあてはまらないすべてのもの	

投資対象地域	グローバル	目論見書等において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	日本	目論見書等において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	北米	目論見書等において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	欧州	目論見書等において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	アジア	目論見書等において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	オセアニア	目論見書等において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	中南米	目論見書等において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	アフリカ	目論見書等において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	中近東（中東）	目論見書等において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	エマージング	目論見書等において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	投資形態	ファミリーファンド
ファンド・オブ・ファンズ		「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズ
為替ヘッジ	あり	目論見書等において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行なう旨の記載があるもの
	なし	目論見書等において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行なう旨の記載がないもの
対象インデックス	日経225	目論見書等において、日経225に連動する運用成果をめざす旨の記載があるもの
	TOPIX	目論見書等において、TOPIXに連動する運用成果をめざす旨の記載があるもの
	その他の指数	目論見書等において、上記以外の指数に連動する運用成果をめざす旨の記載があるもの
特殊型	ブル・ベア型	目論見書等において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行なうとともに各種指数・資産等への連動もしくは逆連動（一定倍の連動もしくは逆連動を含みます。）をめざす旨の記載があるもの
	条件付運用型	目論見書等において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果（基準価額、償還価額、収益分配金等）や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるもの
	ロング・ショート型 / 絶対収益追求型	目論見書等において、ロング・ショート戦略により収益の追求をめざす旨もしくは特定の市場に左右されにくい収益の追求をめざす旨の記載があるもの
	その他型	目論見書等において、特殊型のうち上記に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるもの

商品分類・属性区分の定義について、くわしくは、一般社団法人投資信託協会のホームページ（アドレス<http://www.toushin.or.jp/>）をご参照下さい。

< 信託金の限度額 >

- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、各ファンドについて1兆円を限度として信託金を追加することができます。
- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、限度額を変更することができます。

< ファンドの特色 >

1 米ドル建ての複数種別の債券等に投資します。

※米ドル以外の通貨建資産に投資する場合があります。この場合、原則として実質的に米ドル建てとなるよう為替取引を行いません。

投資する債券等の例



- 資産担保証券：不動産ローンや自動車ローン等の債権を担保として発行された証券。
住宅ローンを担保としたRMBS、商業用不動産ローンを担保としたCMBS、自動車ローン・リース債権などを担保としたABSなどがあります。
- 優先証券：債券と株式の性質を併せ持ち、法的弁済順位が普通株式より優先される証券。
- バンクローン：銀行などの金融機関が、主に格付けが投資適格未満の事業会社等に対して行なう貸付の債権。

※劣後債、転換社債、債券ETFほか、上記以外にも投資する場合があります。

2 利子収入と値上がり益の適切と考えられる組み合わせにより、トータルリターンの最大化をめざします。



3

運用は、グッゲンハイム・パートナーズ・インベストメント・マネジメントLLCが行ないます。

〈グッゲンハイム・パートナーズ・インベストメント・マネジメントLLCについて〉

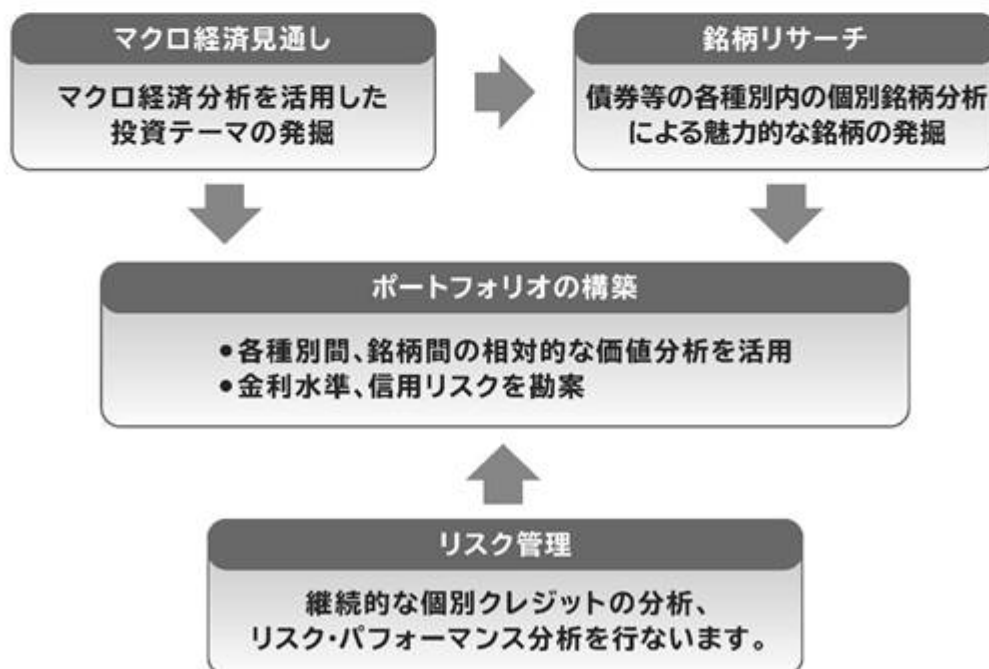
- グッゲンハイム・パートナーズ・インベストメント・マネジメントLLCは1,981億米ドル(約25.9兆円)の資産を運用する運用会社であり、米国サンタモニカを本拠地としています。
- 同社は、米国の金融グループであるグッゲンハイム・パートナーズの運用会社として設立されました。
- グッゲンハイム・パートナーズは、ニューヨークとシカゴを本拠地として、グローバルな拠点を通じて顧客向けに運用業務・証券業務を行なう会社を有します。

(2022年12月末現在)

●運用にあたっては、以下の点に留意します。

- マクロ経済分析を活用した投資テーマの発掘および債券等の各種別内の個別銘柄分析による魅力的な銘柄の発掘につとめます。
- 各種別間、銘柄間の相対的な価値の分析を活用し、投資対象の評価を行なうことでポートフォリオを構築します。
- 投資対象の徹底的な分析を重視することで、特定インデックスの債券等の種別や銘柄にとられない運用を行ないます。

運用プロセス



4

「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

為替ヘッジあり

- 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

為替ヘッジなし

- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。
※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

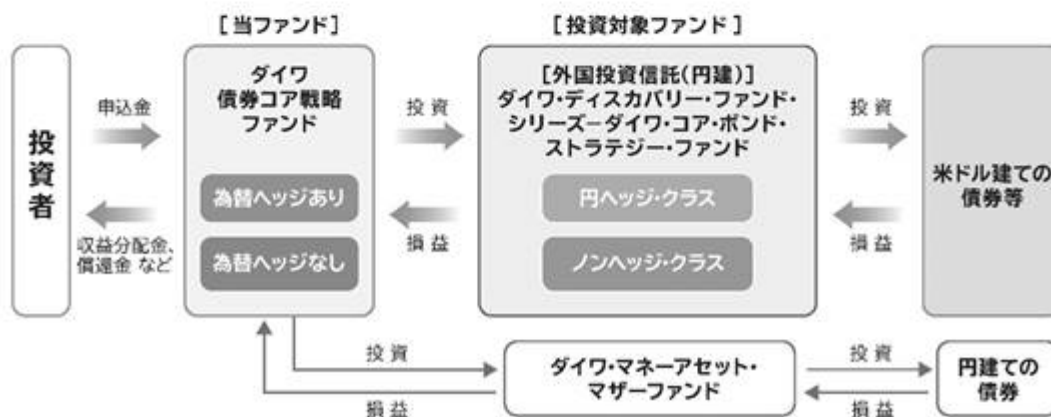
スイッチング(乗換え)について

- ◆ 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。



ファンドの仕組み

- ◆ 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- ◆ 外国投資信託の受益証券を通じて、米ドル建ての債券等に投資します。



※投資対象ファンドについて、くわしくは、「投資対象ファンドの概要」をご参照下さい。

●当ファンドは、通常の状態、投資対象とする外国投資信託への投資割合を高位に維持することを基本とします。

●大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1～4の運用が行なわれないことがあります。

5

毎年3月7日および9月7日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

〈分配方針〉

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ② 原則として、配当等収益等を中心に分配を行なうことをめざします。ただし、基準価額の水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）等を中心に分配する場合があります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

主な投資制限

- 株式への直接投資は、行ないません。
- 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
- 外貨建資産への直接投資は、行ないません。

＜投資対象ファンドの概要＞

1. ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（円ヘッジ・クラス）
2. ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（ノンヘッジ・クラス）

形態 / 表示通貨	ケイマン籍の外国投資信託 / 円建
運用の基本方針	米ドル建ての複数種別の債券等に投資することで、トータルリターンを最大化をめざします。
主要投資対象	米ドル建ての複数種別の債券等（国債、政府機関債、地方債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、新興国債券、資産担保証券、バンクローン、MBS、優先証券、劣後債、転換社債、債券ETF等）

運用方針	<p>1. 主として米ドル建ての複数種別の債券等に投資し、利子収入と値上がり益の適切と考えられる組み合わせによりトータルリターンの最大化をめざします。</p> <p>2. 運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>(a) マクロ経済分析を活用した投資テーマの発掘および債券等の各種別内の個別銘柄分析による魅力的な銘柄の発掘につとめます。</p> <p>(b) 各種別間、銘柄間の相対的な価値の分析を活用し、投資対象の評価を行なうことでポートフォリオを構築します。</p> <p>(c) 投資対象の徹底的な分析を重視することで、特定インデックスの債券等の種別や銘柄にとらわれない運用を行ないます。</p> <p>米ドル以外の通貨建資産に投資する場合があります。この場合、原則として実質的に米ドル建てとなるよう為替取引を行ないます。</p> <p>3. (円ヘッジ・クラス) 為替変動リスクを低減するため、対円で為替ヘッジを行ないます。 (ノンヘッジ・クラス) 為替変動リスクを回避するための対円での為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>4. 大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。</p>
設定日	2015年9月9日
決算日	9月30日
申込手数料	かかりません。
管理報酬等	<p>(円ヘッジ・クラス) 純資産総額に対して年率0.645%程度 (ノンヘッジ・クラス) 純資産総額に対して年率0.615%程度</p> <p>ただし、この他に「ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド」全体に対して、固定報酬として年額10,000米ドルがかかります。また、監査費用、弁護士費用、有価証券売買委託手数料等、ファンドの運営に必要な各種経費がかかります。</p>
運用会社	グッゲンハイム・パートナーズ・インベストメント・マネジメントLLC

3. ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

形態 / 表示通貨	国内籍の証券投資信託 / 円建
運用の基本方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券

投資態度	<p>円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p> <p>当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。</p>
設定日	2012年3月22日
信託期間	無期限
決算日	毎年12月9日（休業日の場合翌営業日）
運用管理費用 （信託報酬）	かかりません。
委託会社	大和アセットマネジメント株式会社
受託会社	みずほ信託銀行株式会社

(2) 【ファンドの沿革】

2015年9月8日

信託契約締結、当初設定、運用開始

2019年12月3日

信託期間終了日を2025年9月5日に変更（当初は2020年9月4日）

(3) 【ファンドの仕組み】

受益者

お申込者

収益分配金（注）、償還金など お申込金（ 3 ）

お取扱窓口

販売会社	<p>受益権の募集・販売の取扱い等に関する委託会社との契約（ 1 ）に基づき、次の業務を行ないます。</p> <p>受益権の募集の取扱い</p> <p>一部解約請求に関する事務</p> <p>収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務</p> <p>など</p>
------	---

1

収益分配金、償還金など お申込金（ 3 ）

委託会社	大和アセットマネジメント株式会社	当ファンドにかかる証券投資信託契約(以下「信託契約」といいます。)(2)の委託者であり、次の業務を行いません。 受益権の募集・発行 信託財産の運用指図 信託財産の計算 運用報告書の作成 など
運用指図	2	損益 信託金(3)
受託会社	みずほ信託銀行株式会社 再信託受託会社： 株式会社日本カストディ銀行	信託契約(2)の受託者であり、次の業務を行いません。なお、信託事務の一部につき株式会社日本カストディ銀行に委託することができます。また、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。 委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分 信託財産の計算 など
		損益 投資
投資対象	投資対象ファンドの受益証券 など	

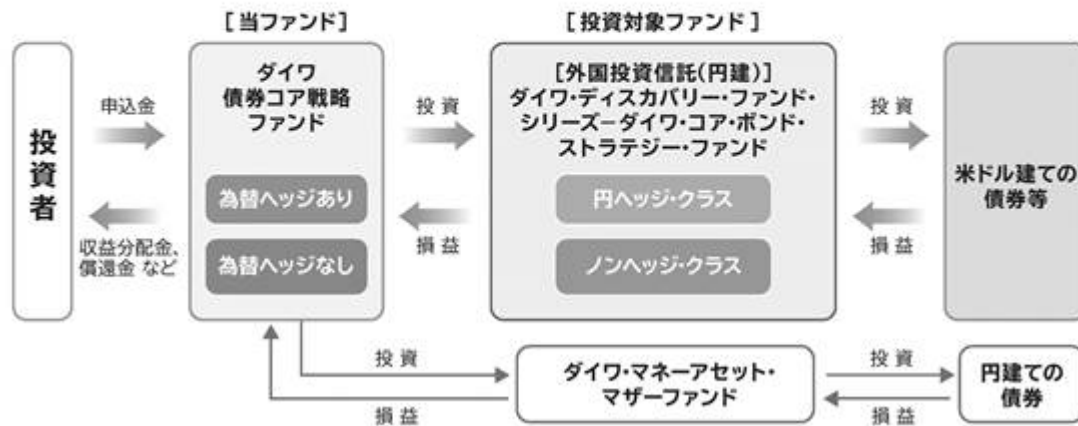
(注)「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は自動的に再投資されます。

- 1：受益権の募集の取扱い、一部解約請求に関する事務、収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務の内容等が規定されています。
- 2：「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づいて、あらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容に基づき締結されます。証券投資信託の運営に関する事項(運用方針、委託会社および受託会社の業務、受益者の権利、信託報酬、信託期間等)が規定されています。
- 3：販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

委託会社および受託会社は、それぞれの業務に対する報酬を信託財産から收受します。また、販売会社には、委託会社から業務に対する代行手数料が支払われます。

ファンドの仕組み

- ◆当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- ◆外国投資信託の受益証券を通じて、米ドル建ての債券等に投資します。



< 委託会社の概況（2023年3月末日現在） >

・資本金の額 151億7,427万2,500円

・沿革

- 1959年12月12日 大和証券投資信託委託株式会社として設立
- 1960年 2月17日 「証券投資信託法」に基づく証券投資信託の委託会社の免許取得
- 1960年 4月 1日 営業開始
- 1985年11月 8日 投資助言・情報提供業務に関する兼業承認を受ける。
- 1995年 5月31日 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づき投資顧問業の登録を受ける。
- 1995年 9月14日 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づく投資一任契約にかかる業務の認可を受ける。
- 2007年 9月30日 「金融商品取引法」の施行に伴い、同法第29条の登録を受けたものとみなされる。
(金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第352号)
- 2020年 4月 1日 大和アセットマネジメント株式会社に商号変更

・大株主の状況

名称	住所	所有 株式数	比率
株式会社大和証券グループ本社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号	株 2,608,525	% 100.00

2【投資方針】

(1)【投資方針】

< 為替ヘッジあり >

主要投資対象

次の有価証券を主要投資対象とします。

1. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（円ヘッジ・クラス）」（以下「コア・ボンド・ファンド（円ヘッジ・クラス）」といいます。）の受益証券（円建）
2. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券

投資態度

- イ. 主として、コア・ボンド・ファンド（円ヘッジ・クラス）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等に投資することで、利子収入と値上がり益の適切と考えられる組み合わせによりトータルリターンの最大化をめざします。
- ロ. 当ファンドは、コア・ボンド・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、コア・ボンド・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。
- ハ. コア・ボンド・ファンド（円ヘッジ・クラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
- ニ. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

<為替ヘッジなし>

主要投資対象

次の有価証券を主要投資対象とします。

1. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（ノンヘッジ・クラス）」（以下「コア・ボンド・ファンド（ノンヘッジ・クラス）」といいます。）の受益証券（円建）
2. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券

投資態度

- イ. 主として、コア・ボンド・ファンド（ノンヘッジ・クラス）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等に投資することで、利子収入と値上がり益の適切と考えられる組み合わせによりトータルリターンの最大化をめざします。
- ロ. 当ファンドは、コア・ボンド・ファンド（ノンヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、コア・ボンド・ファンド（ノンヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。
- ハ. コア・ボンド・ファンド（ノンヘッジ・クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
- ニ. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

<投資先ファンドについて>

投資先ファンドの選定の方針は次のとおりです。

1. 為替ヘッジあり

投資先ファンドの名称	ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（円ヘッジ・クラス）
選定の方針	米ドル建ての複数種別の債券等に投資することで、利子収入と値上がり益の適切と考えられる組み合わせによりトータルリターンの最大化をめざして運用を行なうファンドである。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行なう。

2. 為替ヘッジなし

投資先ファンドの名称	ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（ノンヘッジ・クラス）
選定の方針	米ドル建ての複数種別の債券等に投資することで、利子収入と値上がり益の適切と考えられる組み合わせによりトータルリターンの最大化をめざして運用を行なうファンドである。為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行なわない。

くわしくは「1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」をご参照下さい。

(2)【投資対象】

<為替ヘッジあり>

当ファンドにおいて投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．約束手形

ハ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、主として、大和アセットマネジメント株式会社を委託者とし、みずほ信託銀行株式会社を受託者として締結された次の1. に掲げる親投資信託（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券、次の2. に掲げる外国投資信託（以下「組入外国投資信託」といいます。）の受益証券、ならびに次の3. から5. までに掲げる有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券

2. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の受益証券（円建）

3. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等

4. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前3.の証券の性質を有するもの
5. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、前1.に掲げる投資信託の受益証券および前2.に掲げる外国投資信託の受益証券を「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形

<為替ヘッジなし>

（<為替ヘッジあり>と同規定）

委託会社は、信託金を、主として、大和アセットマネジメント株式会社を委託者とし、みずほ信託銀行株式会社を受託者として締結された次の1.に掲げる親投資信託（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券、次の2.に掲げる外国投資信託（以下「組入外国投資信託」といいます。）の受益証券、ならびに次の3. から5.までに掲げる有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
2. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（ノンヘッジ・クラス）」の受益証券（円建）
3. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
4. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前3.の証券の性質を有するもの
5. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、前1.に掲げる投資信託の受益証券および前2.に掲げる外国投資信託の受益証券を「投資信託証券」といいます。

（<為替ヘッジあり>と同規定）

<投資先ファンドについて>

ファンドの純資産総額の10%を超えて投資する可能性がある投資先ファンドの内容は次のとおりです。

1. 為替ヘッジあり

投資先ファンドの名称	ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（円ヘッジ・クラス）
運用の基本方針	米ドル建ての複数種別の債券等に投資することで、トータルリターンの最大化をめざします。
主要な投資対象	米ドル建ての複数種別の債券等（国債、政府機関債、地方債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、新興国債券、資産担保証券、バンクローン、MBS、優先証券、劣後債、転換社債、債券ETF等）

委託会社等の名称	運用会社： グッゲンハイム・パートナーズ・インベストメント・マネジメン トLLC
----------	--

2. 為替ヘッジなし

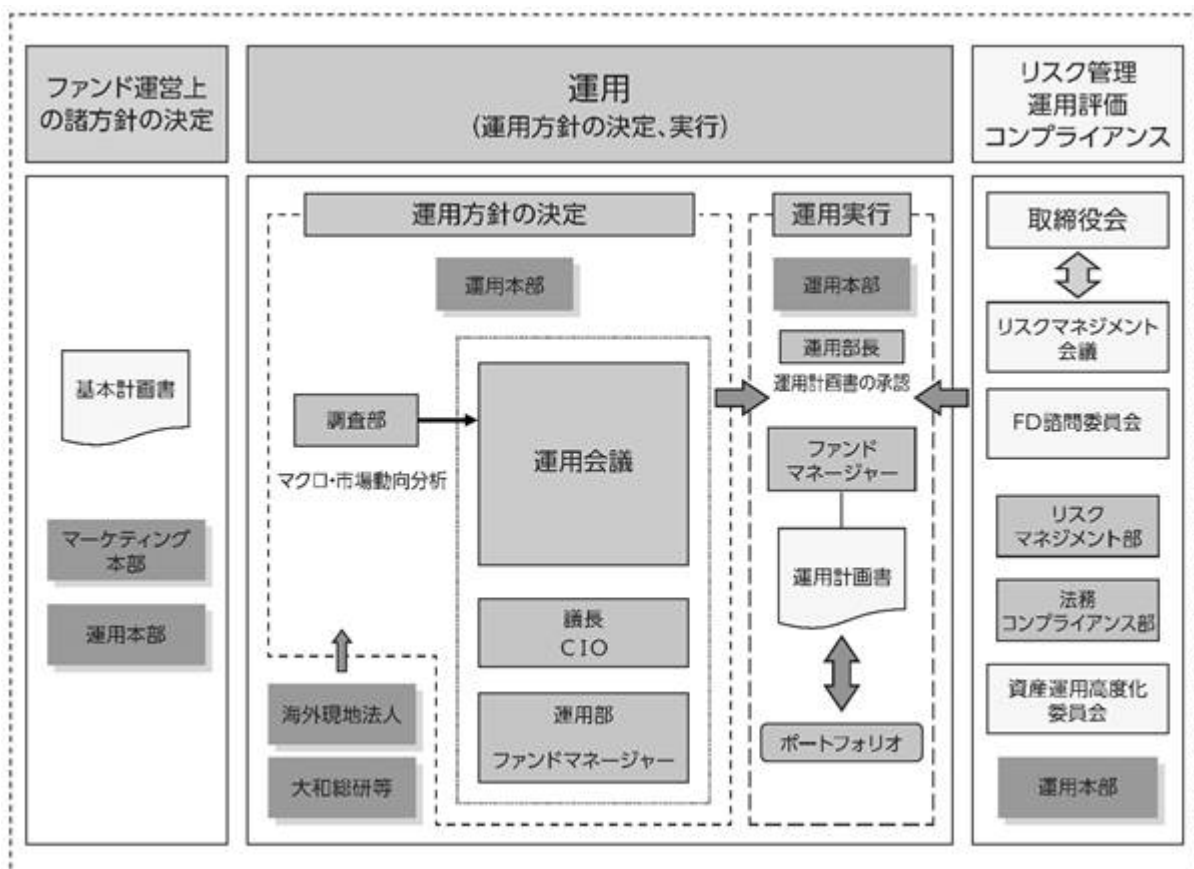
投資先ファンドの名称	ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ ボンド・ストラテジー・ファンド（ノンヘッジ・クラス）
運用の基本方針	米ドル建ての複数種別の債券等に投資することで、トータルリ ターンの最大化をめざします。
主要な投資対象	米ドル建ての複数種別の債券等（国債、政府機関債、地方債、投 資適格社債、ハイ・イールド社債、新興国債券、資産担保証券、 バンクローン、MBS、優先証券、劣後債、転換社債、債券ETF等）
委託会社等の名称	運用会社： グッゲンハイム・パートナーズ・インベストメント・マネジメン トLLC

くわしくは「1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」を
ご参照下さい。

(3) 【運用体制】

運用体制

ファンドの運用体制は、以下のとおりとなっています。



運用方針の決定にかかる過程

運用方針は次の過程を経て決定しております。

イ．基本計画書の策定

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を商品担当役員の決裁により決定します。

ロ．基本的な運用方針の決定

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

ハ．運用計画書の作成・承認

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

職務権限

ファンド運用の意思決定機能を担う運用本部において、各職位の主たる職務権限は、社内規則によって、次のように定められています。

イ．CIO（Chief Investment Officer）（1名）

運用最高責任者として、次の職務を遂行します。

- ・基本的な運用方針の決定
- ・その他ファンドの運用に関する重要事項の決定

ロ．Deputy-CIO（0～5名程度）

CIOを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

ハ．インベストメント・オフィサー（0～5名程度）

CIOおよびDeputy-CIOを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

ニ．運用部長（各運用部に1名）

ファンドマネージャーが策定する運用計画を決定します。

ホ．運用チームリーダー

ファンドの基本的な運用方針を策定します。

ヘ．ファンドマネージャー

ファンドの運用計画を策定して、これに沿ってポートフォリオを構築します。

リスクマネジメント会議、FD諮問委員会および資産運用高度化委員会

次のとおり各会議体等において必要な報告・審議等を行なっています。これら会議体等の事務局となる部署の人員は35～45名程度です。

イ．リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

ロ．FD諮問委員会

取締役会の諮問委員会として、ファンド組成・運用に関わる会議体等に対する牽制に資する事項について、取締役会に意見を述べます。

ハ．資産運用高度化委員会

資産運用高度化への取組みについて報告・検討し、必要事項を審議・決定します。

受託会社に対する管理体制

受託会社に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行なっています。また、受託会社より内部統制の整備および運用状況の報告書を受け取っています。

上記の運用体制は2023年3月末日現在のものであり、変更となる場合があります。

(4)【分配方針】

<各ファンド共通>

分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。

原則として、配当等収益等を中心に分配を行なうことをめざします。ただし、基準価額の水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）等を中心に分配する場合があります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

留保益は、前(1)に基づいて運用します。

(5)【投資制限】

<各ファンド共通>

株式（信託約款）

株式への直接投資は、行ないません。

投資信託証券（信託約款）

投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。

外貨建資産（信託約款）

外貨建資産への直接投資は、行ないません。

信用リスク集中回避（信託約款）

一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしがたい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

資金の借入れ（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。

ロ．一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から、信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、または解約代金の入金日までの間、もしくは償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金借入額は、借入指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。

ハ．収益分配金の再投資にかかる借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

ニ．借入金の利息は信託財産中から支弁します。

<参 考> 投資対象ファンドについて

1. ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド
（円ヘッジ・クラス）
2. ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド
（ノンヘッジ・クラス）

「1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」をご参照下さい。

3. ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

下記以外の項目（「基本方針」、「投資態度」、「運用管理費用（信託報酬）」等）については、「1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」をご参照下さい。

主な投資制限	<p>株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限りません。）の行使等により取得したものに限りません。</p> <p>株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>外貨建資産への投資は、行ないません。</p>
償還条項	<p>信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。</p>

3【投資リスク】

(1) 価額変動リスク

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、公社債など値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。委託会社の指図に基づく行為により信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

投資信託は預貯金とは異なります。

投資者のみなさまにおかれましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申込み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。

公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）

公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します（値動きの幅は、残存期間、発行体、公社債の種類等により異なります。）。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が財政難、経営不安等により、利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（債務不履行）、またはできなく

なることが予想される場合には、大きく下落します（利息および償還金が支払われないこともあります。）。

組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

ハイ・イールド社債は、投資適格社債に比べ、一般に債務不履行が生じるリスクが高いと考えられます。また、投資適格社債に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向があります。

新興国の公社債は、先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになると考えられます。

その他の価格変動

- ・資産担保証券の価格は、一般に金利が上昇した場合に下落します。また、担保となるローンは、一般に金利が低下すると借り換えが増加し、ローンの期限前償還が増加することにより、資産担保証券の価格は影響を受けます。
- ・優先証券は、発行体の財政難、経営不安等が生じた場合、または生じることが予想される場合には、優先証券の価格が大きく下落する可能性があります。
- ・バンクローンの価格は、債務者である事業会社等の信用状況により変動します。特に、債務者が債務不履行を発生させた場合、またはその可能性が予想される場合に価格が下落します。また、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより、価格の変動性が大きくなる傾向があります。

その他の価格変動は、上記に限定されるものではありません。

組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

外国証券への投資に伴うリスク

イ．為替リスク

外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

「為替ヘッジあり」においては、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いません。ただし、影響をすべて排除できるわけではありません。また、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

「為替ヘッジなし」においては、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。そのため基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

米ドル以外の通貨建資産については、原則として実質的に米ドル建てとなるよう為替取引を行いますが、影響をすべて排除できるわけではありません。

ロ．カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。

新興国の経済状況は、先進国経済に比較して脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化、また、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制など数々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更等により証券市場が著しい悪影響を被る可能性もあります。

新興国においては、先進国と比較して、証券の決済、保管等にかかる制度やインフラストラクチャーが未発達であったり、証券の売買を行なう当該国の仲介業者等の固有の事由等により、決済の遅延、不能等が発生する可能性も想定されます。そのような場合、ファンドの基準価額に悪影響が生じる可能性があります。

実質的な投資対象である証券が上場または取引されている新興国の税制は先進国と異なる面がある場合があります。また、税制が変更されたり、あるいは新たな税制が適用されることにより、基準価額が影響を受ける可能性があります。

その他

イ．解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため組入証券を売却しなければならないことがあります。その際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

ロ．ファンド資産をコール・ローン、譲渡性預金証書等の短期金融資産で運用する場合、債務不履行により損失が発生することがあります（信用リスク）。この場合、基準価額が下落する要因となります。

(2)換金性等が制限される場合

通常と異なる状況において、お買付け・ご換金に制限を設けることがあります。

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生した場合には、お買付け、ご換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けたお買付けの申込みを取消すことがあります。

ご換金の申込みの受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日のご換金の申込みを撤回することができます。ただし、受益者がそのご換金の申込みを撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にご換金の申込みを受け付けたものとして取扱います。

(3)その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

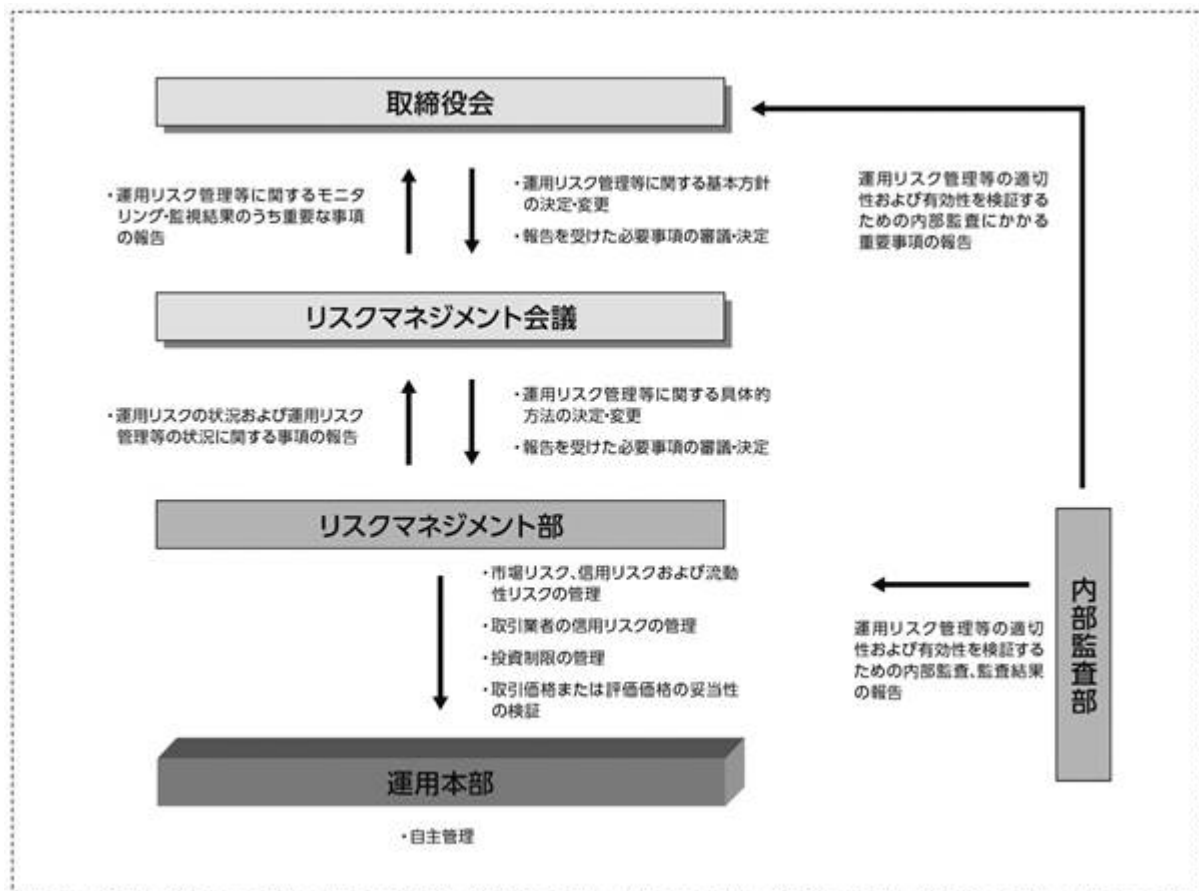
流動性リスクに関する事項

- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。

これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

(4) リスク管理体制

運用リスク管理体制（ ）は、以下のとおりとなっています。



流動性リスクに対する管理体制

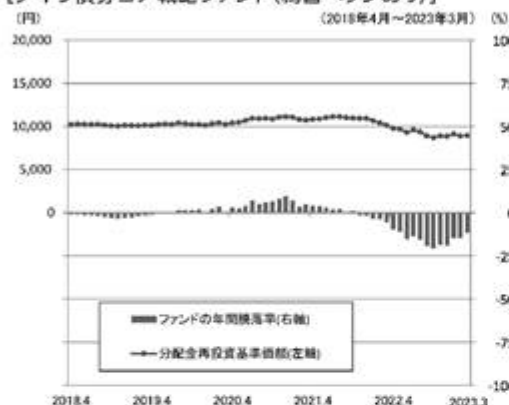
- ・ 委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行いません。
- ・ 取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

参考情報

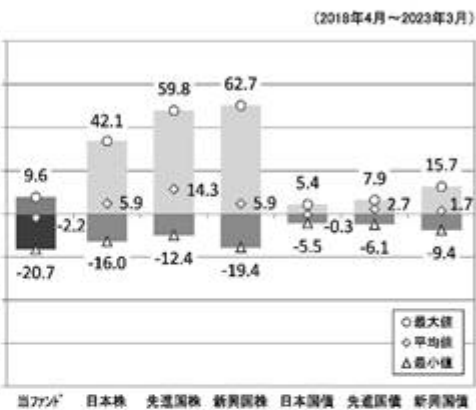
- 下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。右のグラフは過去5年間ににおける年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。また左のグラフはファンドの過去5年間ににおける年間騰落率の推移を表示しています。

ファンドの年間騰落率と分配金再投資基準価額の推移

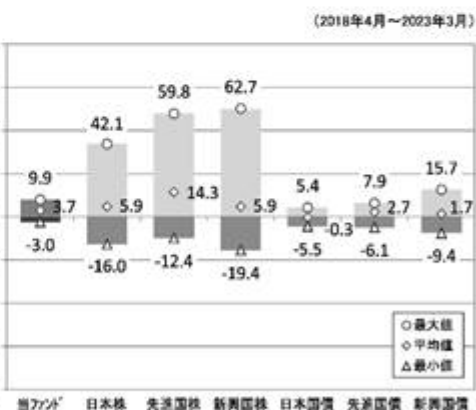
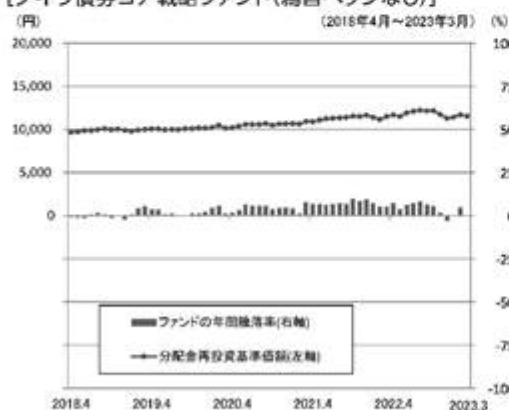
【ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり)】



他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



【ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし)】



※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株：配当込みTOPIX
 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
 日本国債：NOMURA-BPI国債
 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
 新興国債：JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または高標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または高標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。〔<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>〕●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動きを表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は同社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、3.3%（税抜3.0%）となっています。

具体的な手数料の料率等については、販売会社にお問合わせ下さい。

申込手数料には、消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

<スイッチング（乗換え）について>

- ・「為替ヘッジあり」の受益者が、保有する受益権を換金した手取金をもって「為替ヘッジなし」の受益権の取得申込みを行なうこと、および「為替ヘッジなし」の受益者が、保有する受益権を換金した手取金をもって「為替ヘッジあり」の受益権の取得申込みを行なうことをいいます。
- ・スイッチング（乗換え）の申込みの際には、換金の申込みを行なうファンドと、取得の申込みを行なうファンドをご指示下さい。
- ・スイッチング（乗換え）にかかる申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は、スイッチング（乗換え）の金額から差引かせていただきます。



申込手数料は、お買付時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

(2)【換金（解約）手数料】

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

(3) 【信託報酬等】

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年率1.2375%（税抜1.125%）を乗じて得た額とします。信託報酬は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。信託報酬は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を、信託報酬支弁のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる委託会社、販売会社、受託会社への配分については、次のとおりです。

委託会社	販売会社	受託会社
年率0.35% （税抜）	年率0.75% （税抜）	年率0.025% （税抜）

上記の信託報酬の配分には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

前 の販売会社への配分は、販売会社の行なう業務に対する代行手数料であり、委託会社が一旦信託財産から収受した後、販売会社に支払われます。

当ファンドの信託報酬等のほかに、投資対象ファンドに関しても信託報酬等がかかります。当ファンドの信託報酬に投資対象ファンドの信託報酬等を加えた、投資者が実質的に負担する信託報酬率は、「為替ヘッジあり」については年率1.8825%（税込）程度、「為替ヘッジなし」については年率1.8525%（税込）程度です。（ただし、この他に「ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド」全体に対して、固定報酬として年額10,000米ドルがかかりますので、純資産総額によっては上回る場合があります。）

（注）投資対象ファンドの信託報酬等については、「1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」の「投資対象ファンドの概要」をご参照下さい。

信託報酬を対価とする役務の内容は、配分先に応じて、それぞれ以下のとおりです。

委託会社：ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価

販売会社：運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価

受託会社：運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

(4) 【その他の手数料等】

信託財産において資金借入れを行なった場合、当該借入金の利息は信託財産中より支弁します。

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息および信託財産にかかる監査報酬ならびに当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産に属する有価証券等に関連して発生した訴訟係争物たる権利その他の権利に基づいて益金が生じた場合、当該支払いに際して特別に必要となる費用（データ処理費用、郵送料等）は、受益者の負担とし、当該益金から支弁します。

信託財産で有価証券の売買を行なう際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料にかかる消費税等に相当する金額、信託財産に属する資産を外国で保管する場合の費用は、信託財産中より支弁します。

（ ）「その他の手数料等」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

< 投資対象ファンドより支弁する手数料等 >

各ファンドの投資対象等に応じて、信託財産に関する租税、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を支弁します。その他、マザーファンドを除く投資対象ファンドからは監査報酬を支弁します。

(5) 【課税上の取扱い】

課税上は株式投資信託として取扱われます。

個人の投資者に対する課税

イ．収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として課税され、20%（所得税15%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）となります。

ロ．解約金および償還金に対する課税

一部解約時および償還時の差益（解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益）については、譲渡所得とみなされ、20%（所得税15%および地方税5%）の税率により、申告分離課税が適用されます。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）となります。

ハ．損益通算について

一部解約時および償還時の損失については、確定申告により、上場株式等（特定公社債、公募公社債投資信託を含みます。）の譲渡益および償還差益と相殺することができ、申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得および利子所得との損益通算も可能となります。また、翌年以後3年間、上場株式等の譲渡益・償還差益および配当等・利子から繰越控除することができます。一部解約時および償還時の差益については、他の上場株式等の譲渡損および償還差損との相殺が可能となります。

なお、特定口座にかかる課税上の取扱いにつきましては、販売会社にお問合わせ下さい。

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「愛称：ジュニアNISA（ジュニアニーサ）」をご利用の場合

公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「愛称：ジュニアNISA（ジュニアニーサ）」の適用対象です。毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります（他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。）。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方となります。当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。

法人の投資者に対する課税

法人の投資者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として課税され、15%（所得税15%）の税率で源泉徴収（ ）され法人の受取額となります。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）には課税されません。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）となります。なお、益金不算入制度の適用はありません。

源泉徴収された税金は法人税額から控除されます。

<注1> 個別元本について

投資者ごとの信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は含まれません。）が当該投資者の元本（個別元本）にあたります。

投資者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該投資者が追加信託を行なうつど当該投資者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

投資者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該投資者の個別元本となります。

個別元本について、詳しくは販売会社にお問合わせ下さい。

<注2> 収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（投資者ごとの元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

投資者が収益分配金を受取る際、イ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本と同額の場合または当該投資者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、ロ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

- () 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- () 上記は、2023年3月末日現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。
- () 課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）】

(1) 【投資状況】（2023年3月31日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	1,521,304,401	98.71
内 ケイマン諸島	1,521,304,401	98.71
親投資信託受益証券	996	0.00
内 日本	996	0.00
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	19,945,441	1.29
純資産総額	1,541,250,838	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 【投資資産】（2023年3月31日現在）

【投資有価証券の主要銘柄】

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 または 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	DAIWA CORE BOND STRATEGY FUND - THE JPY HEDGED CLASS UNIT	ケイマン諸 島	投資信託 受益証券	18,501,500.76	81.42 1,506,419,096	82.22 1,521,304,401	98.71
2	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	日本	親投資信 託受益証 券	999	0.9978 996	0.9978 996	0.00

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
投資信託受益証券	98.71%
親投資信託受益証券	0.00%
合計	98.71%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (2016年3月7日)	3,500,167,507	3,546,688,689	0.9781	0.9911
第2計算期間末 (2016年9月7日)	5,866,743,939	5,935,914,686	1.0178	1.0298
第3計算期間末 (2017年3月7日)	8,784,842,995	8,865,051,860	0.9857	0.9947
第4計算期間末 (2017年9月7日)	10,571,131,113	10,666,039,675	1.0024	1.0114
第5計算期間末 (2018年3月7日)	9,624,794,282	9,654,221,264	0.9812	0.9842
第6計算期間末 (2018年9月7日)	8,146,984,731	8,176,287,148	0.9731	0.9766
第7計算期間末 (2019年3月7日)	6,149,764,285	6,149,764,285	0.9587	0.9587
第8計算期間末 (2019年9月9日)	5,304,963,281	5,304,963,281	0.9878	0.9878
第9計算期間末 (2020年3月9日)	4,544,655,659	4,544,655,659	1.0145	1.0145
第10計算期間末 (2020年9月7日)	3,222,667,329	3,233,549,229	1.0365	1.0400
第11計算期間末 (2021年3月8日)	2,823,820,856	2,834,914,751	1.0182	1.0222
第12計算期間末 (2021年9月7日)	2,609,396,666	2,633,201,429	1.0414	1.0509

第13計算期間末 (2022年3月7日)	2,188,534,554	2,204,240,310	0.9754	0.9824
2022年3月末日	1,918,022,611	-	0.9431	-
4月末日	1,825,227,538	-	0.9083	-
5月末日	1,809,522,404	-	0.9004	-
6月末日	1,720,862,381	-	0.8663	-
7月末日	1,757,402,333	-	0.8917	-
8月末日	1,708,283,783	-	0.8720	-
第14計算期間末 (2022年9月7日)	1,644,010,471	1,677,313,592	0.8392	0.8562
9月末日	1,583,171,966	-	0.8110	-
10月末日	1,517,012,931	-	0.7931	-
11月末日	1,522,289,973	-	0.8111	-
12月末日	1,516,185,268	-	0.8068	-
2023年1月末日	1,553,530,036	-	0.8293	-
2月末日	1,565,251,366	-	0.8099	-
第15計算期間末 (2023年3月7日)	1,545,120,231	1,562,514,492	0.7995	0.8085
3月末日	1,541,250,838	-	0.8066	-

【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第1計算期間	0.0130
第2計算期間	0.0120
第3計算期間	0.0090
第4計算期間	0.0090
第5計算期間	0.0030
第6計算期間	0.0035
第7計算期間	0.0000
第8計算期間	0.0000
第9計算期間	0.0000
第10計算期間	0.0035
第11計算期間	0.0040
第12計算期間	0.0095
第13計算期間	0.0070
第14計算期間	0.0170
第15計算期間	0.0090

【収益率の推移】

	収益率(%)
第1計算期間	0.9
第2計算期間	5.3
第3計算期間	2.3
第4計算期間	2.6
第5計算期間	1.8
第6計算期間	0.5
第7計算期間	1.5
第8計算期間	3.0
第9計算期間	2.7
第10計算期間	2.5
第11計算期間	1.4
第12計算期間	3.2
第13計算期間	5.7
第14計算期間	12.2
第15計算期間	3.7

(4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第1計算期間	2,095,155,807	61,309,356
第2計算期間	2,489,519,247	303,842,776
第3計算期間	4,531,648,102	1,383,780,914
第4計算期間	4,195,914,706	2,562,614,980
第5計算期間	561,504,505	1,297,906,247
第6計算期間	60,371,859	1,497,246,649
第7計算期間	458,579,742	2,416,005,550
第8計算期間	305,025,227	1,349,271,633
第9計算期間	45,537,261	936,368,967
第10計算期間	8,976,733	1,379,477,821
第11計算期間	92,009,588	427,650,106
第12計算期間	82,289,486	349,998,689
第13計算期間	54,107,874	316,192,981
第14計算期間	66,490,926	351,163,260
第15計算期間	141,620,434	167,931,847

(注) 当初設定数量は1,544,706,029口です。

(参考) マザーファンド

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

(1) 投資状況 (2023年3月31日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	98,083,787	100.00
純資産総額	98,083,787	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産 (2023年3月31日現在)

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

該当事項はありません。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

該当事項はありません。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(参考情報) 運用実績

●ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり)

2023年3月31日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	8,066円
純資産総額	15億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1か月間	0.7%
3か月間	1.1%
6か月間	0.6%
1年間	-11.8%
3年間	-12.5%
5年間	-13.2%
設定来	-10.5%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 260円 設定来分配金合計額: 995円

決算期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期
	17年9月	18年3月	18年9月	19年3月	19年9月	20年3月	20年9月	21年3月	21年9月	22年3月	22年9月	23年3月
分配金	90円	30円	35円	0円	0円	0円	35円	40円	95円	70円	170円	90円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額のお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

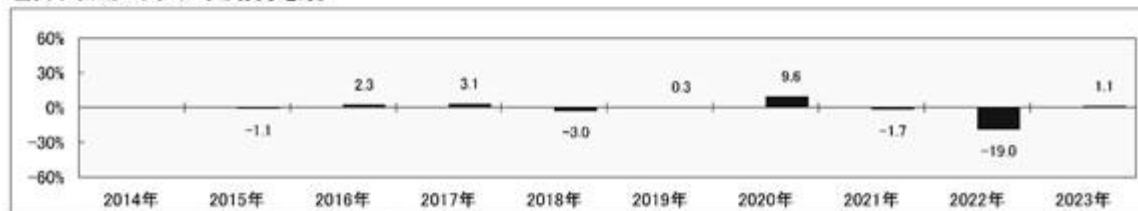
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド		
運用会社名	ファンド名	比率
グッゲンハイム・パートナーズ・インベストメント・マネジメントLLC	ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド(円ヘッジ・クラス)	98.7%
大和アセットマネジメント	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	0.0%
合計		98.7%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2015年は設定日(9月8日)から年末、2023年は3月31日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

【ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし)】

(1) 【投資状況】（2023年3月31日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	467,918,823	98.42
内 ケイマン諸島	467,918,823	98.42
親投資信託受益証券	996	0.00
内 日本	996	0.00
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	7,517,822	1.58
純資産総額	475,437,641	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 【投資資産】（2023年3月31日現在）

【投資有価証券の主要銘柄】

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 または 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	DAIWA CORE BOND STRATEGY FUND - THE JPY NON-HEDGED CLASS UNIT	ケイマン諸 島	投資信託 受益証券	4,736,499.88	99.67 472,131,473	98.79 467,918,823	98.42
2	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	日本	親投資信 託受益証 券	999	0.9978 996	0.9978 996	0.00

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
投資信託受益証券	98.42%
親投資信託受益証券	0.00%
合計	98.42%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (2016年3月7日)	1,939,979,861	1,967,243,188	0.9250	0.9380
第2計算期間末 (2016年9月7日)	1,937,466,409	1,959,639,026	0.8738	0.8838
第3計算期間末 (2017年3月7日)	1,589,593,221	1,609,748,474	0.9464	0.9584
第4計算期間末 (2017年9月7日)	2,086,211,440	2,104,179,193	0.9289	0.9369
第5計算期間末 (2018年3月7日)	1,606,121,685	1,619,654,750	0.8901	0.8976
第6計算期間末 (2018年9月7日)	1,193,518,792	1,210,932,211	0.9253	0.9388
第7計算期間末 (2019年3月7日)	958,553,934	966,846,845	0.9247	0.9327
第8計算期間末 (2019年9月9日)	834,243,105	838,774,304	0.9206	0.9256
第9計算期間末 (2020年3月9日)	687,878,300	693,008,558	0.9386	0.9456
第10計算期間末 (2020年9月7日)	581,350,373	587,668,058	0.9662	0.9767
第11計算期間末 (2021年3月8日)	541,318,715	544,113,480	0.9685	0.9735
第12計算期間末 (2021年9月7日)	550,155,381	555,631,931	1.0046	1.0146
第13計算期間末 (2022年3月7日)	532,294,982	536,066,867	0.9879	0.9949
2022年3月末日	542,823,661	-	1.0154	-
4月末日	537,079,739	-	1.0309	-
5月末日	488,849,464	-	1.0148	-
6月末日	507,630,220	-	1.0536	-

7月末日	473,366,187	-	1.0680	-
8月末日	486,344,686	-	1.0812	-
第14計算期間末 (2022年9月7日)	481,052,518	490,949,050	1.0694	1.0914
9月末日	477,031,221	-	1.0506	-
10月末日	479,492,549	-	1.0524	-
11月末日	474,387,578	-	1.0150	-
12月末日	456,262,211	-	0.9781	-
2023年1月末日	459,459,011	-	0.9888	-
2月末日	442,347,867	-	1.0114	-
第15計算期間末 (2023年3月7日)	431,852,400	441,474,263	0.9874	1.0094
3月末日	475,437,641	-	0.9762	-

【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第1計算期間	0.0130
第2計算期間	0.0100
第3計算期間	0.0120
第4計算期間	0.0080
第5計算期間	0.0075
第6計算期間	0.0135
第7計算期間	0.0080
第8計算期間	0.0050
第9計算期間	0.0070
第10計算期間	0.0105
第11計算期間	0.0050
第12計算期間	0.0100
第13計算期間	0.0070
第14計算期間	0.0220
第15計算期間	0.0220

【収益率の推移】

	収益率(%)
第1計算期間	6.2
第2計算期間	4.5
第3計算期間	9.7
第4計算期間	1.0
第5計算期間	3.4

第6計算期間	5.5
第7計算期間	0.8
第8計算期間	0.1
第9計算期間	2.7
第10計算期間	4.1
第11計算期間	0.8
第12計算期間	4.8
第13計算期間	1.0
第14計算期間	10.5
第15計算期間	5.6

(4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第1計算期間	893,624,546	16,872,238
第2計算期間	321,078,931	200,996,226
第3計算期間	524,592,394	1,062,249,649
第4計算期間	957,262,064	390,897,369
第5計算期間	97,124,187	538,684,620
第6計算期間	66,365,485	580,891,309
第7計算期間	251,726,565	504,995,509
第8計算期間	110,740,865	241,115,011
第9計算期間	18,606,703	191,952,394
第10計算期間	16,522,061	147,731,817
第11計算期間	20,471,739	63,203,063
第12計算期間	11,374,256	22,672,218
第13計算期間	77,173,268	85,987,633
第14計算期間	11,344,440	100,342,784
第15計算期間	33,476,723	45,961,667

(注) 当初設定数量は1,220,426,710口です。

(参考) マザーファンド

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

前記「ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり)」の記載と同じ。

(参考情報) 運用実績

● ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし)

2023年3月31日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	9,762円
純資産総額	4.7億円



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 440円 設定来分配金合計額: 1,605円

決算期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期
	17年9月	18年3月	18年9月	19年3月	19年9月	20年3月	20年9月	21年3月	21年9月	22年3月	22年9月	23年3月
分配金	80円	75円	135円	80円	50円	70円	105円	50円	100円	70円	220円	220円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

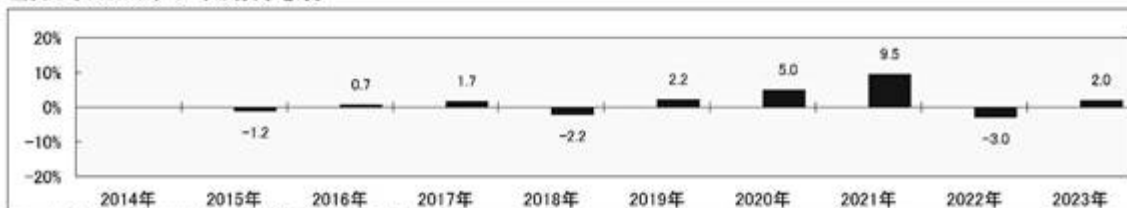
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド		
運用会社名	ファンド名	比率
グッゲンハイム・パートナーズ・インベストメント・マネジメントLLC	ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド(ノンヘッジ・クラス)	98.4%
大和アセットマネジメント	ダイワ・マネー・アセット・マザーファンド	0.0%
合計		98.4%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2015年は設定日(9月8日)から年末、2023年は3月31日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

--(参考情報) ファンドの総経費率--

	総経費率(①+②)	運用管理費用の比率①	その他費用の比率②
ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり)	2.10%	1.24%	0.87%
ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし)	2.08%	1.24%	0.85%

※対象期間は2022年9月8日～2023年3月7日です。

※対象期間中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。)を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当り)を乗じた数で除した値(年率)です。

※その他費用には、投資先ファンドにかかる費用が含まれています。

※投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

※投資先ファンドの費用について、計上された期間が異なる場合があります。

※これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

※詳細につきましては、対象期間の運用報告書(全体版)をご覧ください。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

受益権の取得申込者は、販売会社において取引口座を開設のうえ、取得の申込みを行なうものとします。

当ファンドには、収益分配金を税金を差引いた後無手数料で自動的に再投資する「分配金再投資コース」と、収益の分配が行なわれるごとに収益分配金を受益者に支払う「分配金支払いコース」があります。

「分配金再投資コース」を利用する場合、取得申込者は、販売会社と別に定める積立投資約款にしたがい契約（以下「別に定める契約」といいます。）を締結します。

販売会社は、受益権の取得申込者に対し、最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位をもって、取得の申込みに応じることができます。

ただし、販売会社は、次のイ・およびロ・に掲げる日を取得申込受付日とする受益権の取得申込みの受け付けを行ないません。

イ．ニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の日

ロ．前イ．のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日（当ファンドの運営および受益者に与える影響が軽微であるとして委託会社が定める日に限り除きます。）

お買付価額（1万口当たり）は、お買付申込受付日の翌営業日の基準価額です。

お買付時の申込手数料については、販売会社が別に定めるものとします。申込手数料には、消費税等が課されます。なお、「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

委託会社の各営業日の午後3時までには受付けた取得の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生し、委託会社が追加設定を制限する措置をとった場合には、販売会社は、取得申込みの受け付けを中止することができるほか、すでに受付けた取得申込みを取消することができるものとします。

取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設された当ファンドの受益権の振替を行なうための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行なわれます。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行なうことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行なうものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行ないません。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行ないません。

2【換金（解約）手続等】

委託会社の各営業日の午後3時までには受付けた換金の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

なお、信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の解約請求には制限があります。

<一部解約>

受益者は、自己に帰属する受益権について、最低単位を1口単位として販売会社が定める単位をもって、委託会社に一部解約の実行を請求することができます。

ただし、販売会社は、次のイ・およびロ・に掲げる日を一部解約請求受付日とする一部解約の実行の請求の受け付けを行いません。

イ．ニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の日

ロ．前イ．のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。

解約価額は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

解約価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

解約価額（基準価額）は、販売会社または下記にお問合わせ下さい。

大和アセットマネジメント株式会社

電話番号（コールセンター） 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

ホームページ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

「為替ヘッジあり」または「為替ヘッジなし」の受益者が、当該ファンドの一部解約金の手取金をもって他のファンドの受益権の取得申込みをする場合において、当該他のファンドの受益権の取得申込みの受け付けが中止された場合、当該一部解約請求の申込みの受け付けを中止することがあります。（なお、他のファンドとは、受益者が「為替ヘッジあり」の受益者である場合、「為替ヘッジなし」を、また「為替ヘッジなし」の受益者である場合、「為替ヘッジあり」をいいます。）

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生した場合には、一部解約請求の受け付けを中止することができます。

一部解約請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の一部解約請求を撤回することができます。ただし、受益者がその一部解約請求を撤回しない場合には、当該受益権の一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約請求を受け付けたものとして、当該計算日の翌営業日の基準価額とします。

一部解約金は、販売会社の営業所等において、原則として一部解約の実行の請求受付日から起算して6営業日目から受益者に支払います。

受託会社は、一部解約金について、受益者への支払開始日までに、その全額を委託会社の指定する預金口座等に払込みます。受託会社は、委託会社の指定する預金口座等に一部解約金を払込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。

一部解約の実行の請求を行なう受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかる信託契約の一部解約を委託会社が行なうのと引換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行なうものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行なわれます。

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権口数で除した1万口当たりの価額をいいます。

純資産総額とは、信託財産に属する資産を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価（注1、注2）により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

（注1）当ファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・組入外国投資信託の受益証券：原則として計算時において知り得る直近の日の基準価額で評価します。
- ・マザーファンドの受益証券：計算日の基準価額で評価します。

（注2）マザーファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・本邦通貨表示の公社債：原則として、次に掲げるいずれかの価額で評価します。
 1. 日本証券業協会が発表する売買参考統計値（平均値）
 2. 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除く。）
 3. 価格情報会社の提供する価額

基準価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

基準価額は、販売会社または下記にお問合わせ下さい。

大和アセットマネジメント株式会社

電話番号（コールセンター） 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

ホームページ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

(2)【保管】

該当事項はありません。

(3)【信託期間】

2015年9月8日から2025年9月5日までとします。ただし、(5)により信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

委託会社は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長することができます。

(4)【計算期間】

毎年3月8日から9月7日まで、および9月8日から翌年3月7日までとします。ただし、最終計算期間は、2025年3月8日から2025年9月5日までとします。

上記にかかわらず、上記により各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日の場合には、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日から次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日には適用しません。

(5)【その他】

信託の終了

1. 委託会社は、受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。
2. 委託会社は、当ファンドが主要投資対象とする組入外国投資信託が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。
3. 委託会社は、前1.の事項について、書面による決議(以下「書面決議」といいます。)を行いません。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託契約にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
4. 前3.の書面決議において、受益者(委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本4.において同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、信託契約にかかる知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
5. 前3.の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
6. 前3.から前5.までの規定は、前2.の規定に基づいて信託契約を解約するとき、あるいは、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、前3.から前5.までの手続を行なうことが困難な場合も同じとします。
7. 委託会社は、監督官庁より信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し、信託を終了させます。
8. 委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、の書面決議で否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。
9. 受託会社が辞任した場合または裁判所が受託会社を解任した場合において、委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社は信託契約を解約し、信託を終了させます。

信託約款の変更等

1. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託約款を変更することまたは当ファンドと他のファンドとの併合(投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。)を行なうことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨お

- よびその内容を監督官庁に届出ます。なお、信託約款は本の1.から7.までに定める以外の方法によって変更することができないものとします。
2. 委託会社は、前1.の事項（前1.の変更事項にあつては、その内容が重大なものに該当する場合に限り、前1.の併合事項にあつては、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除きます。以下「重大な信託約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な信託約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託約款にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
 3. 前2.の書面決議において、受益者（委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本3.において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、信託約款にかかる知れている受益者が議決権を行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
 4. 前2.の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
 5. 書面決議の効力は、当ファンドのすべての受益者に対してその効力を生じます。
 6. 前2.から前5.までの規定は、委託会社が重大な信託約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、信託約款にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
 7. 前1.から前6.までの規定にかかわらず、当ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合にあつても、当該併合にかかる一または複数の他のファンドにおいて当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行なうことはできません。
 8. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、前1.から前7.までの規定にしたがいます。

反対受益者の受益権買取請求の不適用

当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権買取請求の規定の適用を受けません。

運用報告書

1. 委託会社は、運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況、費用明細などのうち重要な事項を記載した交付運用報告書（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第4項に定める運用報告書）を計算期間の末日および償還時に作成し、信託財産にかかる知れている受益者に対して交付します。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。
2. 委託会社は、運用報告書（全体版）（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書）を作成し、委託会社のホームページに掲載します。
 - ・委託会社のホームページ
アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>
3. 前2.の規定にかかわらず、受益者から運用報告書（全体版）の交付の請求があつた場合には、これを交付します。

公告

1. 委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

- 前1. の電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

関係法人との契約の更改

委託会社と販売会社との間で締結される受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約は、期間満了の1か月（または3か月）前までに、委託会社および販売会社いずれからも何ら意思の表示のないときは、自動的に1年間更新されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様とします。

4【受益者の権利等】

信託契約締結当初および追加信託当初の受益者は、委託会社の指定する受益権取得申込者とし、分割された受益権は、その取得申込口数に応じて、取得申込者に帰属します。

受益者の有する主な権利の内容、その行使の方法等は、次のとおりです。

< 収益分配金および償還金にかかる請求権 >

受益者は、収益分配金（分配金額は、委託会社が決定します。）および償還金（信託終了時における信託財産の純資産総額を受益権口数で除した額をいいます。以下同じ。）を持分に応じて請求する権利を有します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払います。

上記にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者については、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に収益分配金が再投資されます。再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

償還金は、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に、原則として信託終了日から起算して5営業日までに支払います。

収益分配金および償還金の支払いは、販売会社の営業所等において行なうものとします。

受益者が、収益分配金については支払開始日から5年間その支払いを請求しないときならびに信託終了による償還金については支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

< 換金請求権 >

受益者は、保有する受益権を換金する権利を有します。権利行使の方法等については、「2 換金（解約）手続等」をご参照下さい。

第3 【ファンドの経理状況】

【ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第15期計算期間（2022年9月8日から2023年3月7日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】

ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）

(1)【貸借対照表】

（単位：円）

	第14期 2022年9月7日現在	第15期 2023年3月7日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	71,436,245	45,823,864
投資信託受益証券	1,617,241,618	1,506,276,479
親投資信託受益証券	997	996
未収入金	-	20,000,000
流動資産合計	1,688,678,860	1,572,101,339
資産合計	1,688,678,860	1,572,101,339
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	33,303,121	17,394,261
未払解約金	-	2,419
未払受託者報酬	250,841	211,532
未払委託者報酬	11,039,248	9,309,509
その他未払費用	75,179	63,387
流動負債合計	44,668,389	26,981,108
負債合計	44,668,389	26,981,108
純資産の部		
元本等		
元本	¹ 1,959,007,163	¹ 1,932,695,750
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	² 314,996,692	² 387,575,519
（分配準備積立金）	74,842,160	68,783,529
元本等合計	1,644,010,471	1,545,120,231
純資産合計	1,644,010,471	1,545,120,231
負債純資産合計	1,688,678,860	1,572,101,339

(2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第14期 自 2022年3月8日 至 2022年9月7日	第15期 自 2022年9月8日 至 2023年3月7日
営業収益		
受取配当金	45,243,017	27,254,353
受取利息	99	63
有価証券売買等損益	280,385,820	78,219,493
営業収益合計	235,142,704	50,965,077
営業費用		
支払利息	4,735	7,588
受託者報酬	250,841	211,532
委託者報酬	11,039,248	9,309,509
その他費用	75,179	63,387
営業費用合計	11,370,003	9,592,016
営業損失()	246,512,707	60,557,093
経常損失()	246,512,707	60,557,093
当期純損失()	246,512,707	60,557,093
一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()	16,790,238	3,853,036
期首剰余金又は期首欠損金()	55,144,943	314,996,692
剰余金増加額又は欠損金減少額	8,763,531	27,024,640
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	8,763,531	27,024,640
剰余金減少額又は欠損金増加額	5,589,690	25,505,149
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	5,589,690	25,505,149
分配金	¹ 33,303,121	¹ 17,394,261
期末剰余金又は期末欠損金()	314,996,692	387,575,519

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第15期	
	自 2022年9月8日	至 2023年3月7日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)親投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>	
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資信託受益証券の配当落ち日において、確定配当金額を計上しております。</p>	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第14期	第15期
	2022年9月7日現在	2023年3月7日現在
1. 1 期首元本額	2,243,679,497円	1,959,007,163円
期中追加設定元本額	66,490,926円	141,620,434円
期中一部解約元本額	351,163,260円	167,931,847円
2. 計算期間末日における受益権の総数	1,959,007,163口	1,932,695,750口

3. 2 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は314,996,692円でありませす。	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は387,575,519円でありませす。
------------	--	--

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	第14期 自 2022年3月8日 至 2022年9月7日	第15期 自 2022年9月8日 至 2023年3月7日
1 分配金の計算過程	計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(33,805,241円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(33,017,753円)及び分配準備積立金(74,340,040円)より分配対象額は141,163,034円(1万口当たり720.58円)であり、うち33,303,121円(1万口当たり170円)を分配金額としております。	計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(17,662,674円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(38,252,768円)及び分配準備積立金(68,515,116円)より分配対象額は124,430,558円(1万口当たり643.82円)であり、うち17,394,261円(1万口当たり90円)を分配金額としております。

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	第15期 自 2022年9月8日 至 2023年3月7日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。

2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第15期 2023年3月7日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種 類	第14期 2022年9月7日現在	第15期 2023年3月7日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	259,067,267	73,093,956
親投資信託受益証券	0	1
合計	259,067,267	73,093,957

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第14期 2022年9月7日現在	第15期 2023年3月7日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

第15期 自 2022年9月8日 至 2023年3月7日
市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第14期 2022年9月7日現在	第15期 2023年3月7日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.8392円 (8,392円)	0.7995円 (7,995円)

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
投資信託受益証券	DAIWA CORE BOND STRATEGY FUND - THE JPY HEDGED CLASS UNIT	18,501,215.740	1,506,276,479	
投資信託受益証券 合計			1,506,276,479	
親投資信託受益証券	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	999	996	
親投資信託受益証券 合計			996	
合計			1,506,277,475	

投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドは、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の受益証券（円建）を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

また、当ファンドは、「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同ファンドの状況及び当ファンドの計算期間末日（以下、「期末日」）における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の状況

以下に記載した同ファンドの情報は、会計監査人により監査を受けた財務諸表を委託会社で抜粋・翻訳したものであります。

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

（米ドル建て）

貸借対照表
2021年9月30日

資産		
投資資産の評価額（簿価 \$405,239,082）	\$	409,720,918
現金		63
中央清算されるデリバティブ取引におけるブローカーへの預託金		12,780
外国為替先渡取引による評価益		566,188
ブローカーからの未収金 - 中央清算されるデリバティブ・スワップ取引の 変動証拠金		22,004
拠出済ローン契約の評価益		1
未収：		
売却済投資資産の代金		92,355
受渡遅延の売却済投資資産の代金		32,920,848
発行済受益証券の代金		22,538
配当		16,923
利息		1,981,392
資産合計		445,356,010
負債		
外国為替先渡取引による評価損		1,774,211
売建オプションによる評価額（受取プレミアム\$144,135）		103,025
信用売り評価益（売却代金 \$11,923,386）		11,911,157

店頭デリバティブ取引におけるブローカーからの預託金		595,000
買い現先取引の評価額		19,526,058
未払:		
購入済投資資産の代金		9,232,280
受渡遅延の購入済投資資産の代金		32,647,299
償還済受益証券の代金		278,807
会計および管理会社報酬		357,626
運用会社報酬		305,532
専門家報酬		61,799
保管会社報酬		29,772
販売会社報酬		20,688
管理会社報酬		17,089
名義書換代理人報酬		6,934
代理人報酬		3,181
為替取引執行会社報酬		2,806
印刷費用		1,244
その他負債		165,475
負債合計		77,039,983
純資産		\$ 368,316,027
純資産		
豪ドル・クラス	\$	7,185,592
円ヘッジ・クラス		22,498,993
ノンヘッジ・クラス		309,217,155
NZドル・クラス		3,789,133
トルコ・リラ・クラス		11,778,122
米ドル・クラス		7,703,894
南アフリカ・ランド・クラス		6,143,138
	\$	368,316,027
発行済み受益証券		
豪ドル・クラス		88,076
円ヘッジ・クラス		23,780,045
ノンヘッジ・クラス		337,502,763
NZドル・クラス		48,427
トルコ・リラ・クラス		835,216
米ドル・クラス		66,483
南アフリカ・ランド・クラス		79,305
受益証券1口当り純資産額		
豪ドル・クラス	\$	81.58
円ヘッジ・クラス	\$	0.946
ノンヘッジ・クラス	\$	0.916
NZドル・クラス	\$	78.24
トルコ・リラ・クラス	\$	14.10
米ドル・クラス	\$	115.88
南アフリカ・ランド・クラス	\$	77.46

損益計算書

2021年9月30日に終了した年度

投資収益		
受取利息(源泉徴収税 \$71,613控除後)	\$	10,859,903
配当収益(源泉徴収税 \$77,097控除後)		178,513
投資収益合計		11,038,416
費用		
管理会社報酬		1,785,903
会計および管理会社報酬		308,698
販売会社報酬		269,328
運用会社報酬		217,418
保管会社報酬		190,377
専門家報酬		103,307
名義書換代理人報酬		46,616
代理人報酬		40,648
印刷費用		22,522
受託会社報酬		10,000
登録料		6,431
為替取引執行会社報酬		5,944
支払利息		477
その他費用		69
費用合計		3,007,738

投資利益	8,030,678
実現損益および評価損益:	
実現益:	
証券投資	3,458,642
スワップ取引	796,649
外国為替取引および外国為替先渡取引	1,222,841
実現利益	5,478,132
評価損益の変動:	
証券投資	(3,606,915)
スワップ取引	(1,519,137)
外国為替換算および外国為替先渡取引	(1,461,112)
売建オプション	41,110
未拋出ローン契約	1
信用売りの評価益	12,229
評価損益の純変動	(6,533,824)
実現利益および評価損益の純変動	(1,055,692)
運用による純資産の純増	\$ 6,974,986

投資明細表
2021年9月30日

元本	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
	債券 (101.6%)		
	オーストラリア (1.1%)		
	社債 (1.1%)		
USD 1,610,000	Macquarie Bank Ltd. (a) 3.62% due 06/03/30		\$ 1,688,221
USD 400,000	Macquarie Group Ltd. (a),(b),(c) 2.69% due 06/23/32		398,932
USD 750,000	National Australia Bank Ltd. (a) 2.99% due 05/21/31		758,094
USD 800,000	Newcrest Finance Pty Ltd. (a),(b) 3.25% due 05/13/30		849,324
USD 250,000	Westpac Banking Corp. 2.96% due 11/16/40		247,038
	社債合計		3,941,609
	オーストラリア合計 (簿価 \$3,853,226)		3,941,609
	バミューダ (0.3%)		
	資産担保証券 (0.2%)		
USD 843,215	Textainer Marine Containers VII, Ltd. Class A (a),(b) 2.73% due 08/21/45		854,449
	資産担保証券合計		854,449
	社債 (0.1%)		
USD 450,000	Triton Container International Ltd. (a),(b) 3.15% due 06/15/31		453,706
	社債合計		453,706
	バミューダ合計 (簿価 \$1,292,588)		1,308,155
	カナダ (1.4%)		
	バンクローン* (0.1%)		
USD 300,000	Air Canada 4.25% due 08/11/28		301,624
	バンクローン合計		301,624
	社債 (1.3%)		
USD 950,000	1011778 BC ULC / New Red Finance, Inc. (a),(b) 4.00% due 10/15/30		940,500
USD 100,000	5.75% due 04/15/25		104,985
USD 600,000	Brookfield Finance, Inc. (b) 3.50% due 03/30/51		625,322
USD 150,000	4.70% due 09/20/47		181,231
USD 300,000	CGI, Inc. (a),(b) 2.30% due 09/14/31		291,109
USD 880,000	Fairfax Financial Holdings Ltd. (a),(b) 3.38% due 03/03/31		911,468
	Wilton RE Ltd. (a),(b),(c),(d)		

USD 1,450,000	6.00%	
	Yamana Gold, Inc. (a),(b)	
USD 250,000	2.63% due 08/15/31	243,944
	社債合計	4,880,002
	カナダ合計(簿価 \$5,021,409)	5,181,626
	ケイマン諸島(12.7%)	
	資産担保証券(12.7%)	
	ABPCI Direct Lending Fund CLO I LLC Class B12 (a),(c)	
USD 1,000,000	2.18% due 07/20/33	1,000,264
	ABPCI Direct Lending Fund CLO II LLC Class A1R (a),(b),(c)	
USD 1,250,000	1.73% due 04/20/32	1,249,074
	ABPCI Direct Lending Fund CLO V Ltd. Class A1R (a),(b),(c)	
USD 750,000	1.63% due 04/20/31	749,998
	ABPCI Direct Lending Fund IX LLC Class A1 (a),(c)	
USD 1,000,000	2.08% due 11/18/31	1,000,892
	ACRES Commercial Realty 2021-FL1 Ltd. Class C (a),(b),(c)	
USD 1,000,000	2.08% due 06/15/36	989,972
	AIM Aviation Finance, Ltd., 2015-1A Class A1 (a),(b)	
USD 447,149	4.21% due 02/15/40	379,674
	AMMC CLO XIV Ltd. Class A2R2 (a),(b),(c)	
USD 200,000	1.53% due 07/25/29	199,307
	Anchorage Credit Funding 13 Ltd. Class A1 (a),(b)	
USD 1,000,000	2.88% due 07/27/39	990,959
	Anchorage Credit Funding 3 Ltd. Class A1R (a),(b)	
USD 750,000	2.87% due 01/28/39	775,367
	Anchorage Credit Funding 4 Ltd. Class AR (a),(b)	
USD 2,000,000	2.72% due 04/27/39	2,024,894
	BXMT 2020-FL2, Ltd. Class AS (a),(b),(c)	
USD 2,000,000	1.31% due 02/15/38	1,996,200
	BXMT 2020-FL2, Ltd. Class C (a),(b),(c)	
USD 2,350,000	1.81% due 02/15/38	2,344,125
	BXMT 2020-FL3 Ltd. Class C (a),(b),(c)	
USD 250,000	2.71% due 03/15/37	251,551
	Cerberus Loan Funding XVII, Ltd. 2021-2A Class A Class A	
	(a),(c)	
USD 1,000,000	1.75% due 04/22/33	998,553
	Cerberus Loan Funding XXVI LP Class AR (a),(c)	
USD 750,000	1.63% due 04/15/31	749,999
	Cerberus Loan Funding XXX LP Class A (a),(c)	
USD 1,500,000	1.98% due 01/15/33	1,498,076
	Cerberus Loan Funding XXXI LP Class A (a),(c)	
USD 1,000,000	1.63% due 04/15/32	1,000,198
	Cerberus Loan Funding XXXIII LP Class B (a),(c)	
USD 1,000,000	1.98% due 07/23/33	996,428
	Cerberus Loan Funding XXXV LP Class B (a),(c)	
USD 2,000,000	1.98% due 09/22/33	2,000,000
	Denali Capital CLO XI, Ltd. 2015-1A Class A1RR (a),(b),(c)	
USD 1,613,518	1.26% due 10/20/28	1,613,697
	Dryden 33 Senior Loan Fund Class BR3 (a),(b),(c)	
USD 1,500,000	1.53% due 04/15/29	1,500,020
	FINS 2020-1 A1 (e)	
USD 1,750,000	0.00% due 05/15/38	1,776,722
	Fortress Credit Opportunities IX CLO, Ltd. 2017-9A (e)	
USD 1,750,000	0.00% due 10/15/33	1,750,000
	Fortress Credit Opportunities XI CLO, Ltd. 2018-11A Class	
	A1T (a),(c)	
USD 1,000,000	1.43% due 04/15/31	992,530
	Golub Capital Partners CLO 16 Ltd. Class A1R2 (a),(c)	
USD 250,000	1.70% due 07/25/33	250,377
	Golub Capital Partners CLO 16 Ltd. Class A2R2 (a),(c)	
USD 2,000,000	1.89% due 07/25/33	2,010,022
	Golub Capital Partners CLO 16 Ltd. Class BR2 (a),(c)	
USD 1,000,000	1.99% due 07/25/33	998,320
	Golub Capital Partners CLO 33M Ltd. Class AR2 (a),(c)	
USD 1,250,000	1.98% due 08/25/33	1,244,310
	Golub Capital Partners CLO 36M, Ltd. 2018-36A Class A (a),	
	(b),(c)	
USD 1,000,000	1.42% due 02/05/31	996,783
	Golub Capital Partners CLO 49M Ltd. Class CR (a),(c)	
USD 500,000	2.70% due 08/26/33	498,793
	Golub Capital Partners CLO 54M LP Class C (a),(c)	
USD 1,000,000	2.77% due 08/05/33	996,877
	GPMT 2019-FL2 Ltd. Class C (a),(b),(c)	
USD 480,000	2.43% due 02/22/36	478,799

USD 1,000,000	HGI CRE CLO 2021-FL2 Ltd. Class C (a),(b),(c) 1.90% due 09/19/26	1,000,000
USD 1,047,948	KDAC Aviation Finance, Ltd. 2017-1A Class A (a) 4.21% due 12/15/42	1,044,017
USD 1,000,000	LoanCore 2018-CRE1 Issuer, Ltd. Class AS (a),(b),(c) 1.58% due 05/15/28	1,000,000
USD 1,150,000	LoanCore 2019-CRE2 Issuer, Ltd. Class AS (a),(b),(c) 1.58% due 05/15/36	1,150,000
USD 1,000,000	Midocean Credit Clo VII 2017-7A Class A2R (a),(b),(c) 1.58% due 07/15/29	1,001,320
USD 241,980	Monroe Capital CLO 2014-1, Ltd. Class BR (a),(c) 1.84% due 10/22/26	241,973
USD 1,000,000	Owl Rock CLO IV Ltd. Class A2R (a),(b),(c) 2.04% due 08/20/33	996,241
USD 997,339	Palmer Square Loan Funding 2018-4, Ltd. Class A1 (a),(b),(c) 1.02% due 11/15/26	996,691
USD 2,118,159	Shackleton 2015-VIII CLO, Ltd. 2015-8A Class A1R (a),(b),(c) 1.05% due 10/20/27	2,118,189
USD 1,000,000	THL Credit Lake Shore MM CLO I LTD Class BR (a),(b),(c) 2.13% due 04/15/33	998,312
USD 500,000	VENTURE XIII CLO, Ltd. 2013-13A Class SUB (a),(b),(c) 0.00% due 09/10/29	131,043
	資産担保証券合計	46,980,567
	ケイマン諸島合計(簿価 \$47,159,534)	46,980,567
	フランス(0.3%)	
	社債(0.3%)	
USD 250,000	Altice France S.A. (a),(b) 5.13% due 07/15/29	245,508
USD 500,000	BNP Paribas S.A. (a),(b),(c) 2.16% due 09/15/29	496,206
USD 500,000	Societe Generale S.A. (a),(b),(c) 2.89% due 06/09/32	502,244
	社債合計	1,243,958
	フランス合計(簿価 \$1,250,000)	1,243,958
	ガーンジー(1.0%)	
	社債(1.0%)	
USD 1,600,000	Pershing Square Holdings, Ltd. (b) 3.25% due 11/15/30	1,617,451
USD 1,000,000	3.25% due 10/01/31	1,001,150
USD 1,000,000	5.50% due 07/15/22	1,030,776
	社債合計	3,649,377
	ガーンジー合計(簿価 \$3,614,171)	3,649,377
	アイルランド(0.1%)	
	社債(0.1%)	
USD 200,000	LCPR Senior Secured Financing DAC (a),(b) 6.75% due 10/15/27	212,000
	社債合計	212,000
	アイルランド合計(簿価 \$211,242)	212,000
	日本(0.7%)	
	社債(0.7%)	
USD 1,850,000	Nippon Life Insurance Co. (a),(b),(c) 2.90% due 09/16/51	1,821,979
USD 500,000	Sumitomo Life Insurance Co. (a),(b),(c) 3.38% due 04/15/81	519,065
USD 250,000	Sumitomo Mitsui Financial Group, Inc. 2.22% due 09/17/31	245,737
	社債合計	2,586,781
	日本合計(簿価 \$2,600,000)	2,586,781
	ジャージー、チャンネル諸島(0.6%)	
	社債(0.6%)	
USD 800,000	Galaxy Pipeline Assets Bidco Ltd. (a) 2.94% due 09/30/40	798,332
USD 1,400,000	3.25% due 09/30/40	1,411,332
	社債合計	2,209,664
	ジャージー、チャンネル諸島合計(Cost \$2,200,000)	2,209,664
	ルクセンブルク(0.1%)	
	バンクローン*(0.1%)	
USD 246,867	Aston FinCo S.A.R.L. 4.33% due 10/09/26	246,122
USD 149,250	Endo Luxembourg Finance Company I S.A.R.L. 5.75% due 03/27/28	146,296
	バンクローン合計	392,418
	社債(0.0%)	

	Endo Luxembourg Finance Co. I S.A.R.L. / Endo US, Inc. (a), (b)	
USD 100,000	6.13% due 04/01/29	100,000
	社債合計	100,000
	ルクセンブルク合計(簿価 \$486,493)	492,418
	メキシコ(0.2%)	
	社債(0.2%)	
	Becle SAB de CV (a),(b)	
USD 600,000	2.50% due 10/14/31	593,856
	社債合計	593,856
	メキシコ合計(簿価 \$593,856)	593,856
	多国籍企業(0.5%)	
	社債(0.5%)	
	Ardagh Metal Packaging Finance USA LLC / Ardagh Metal Packaging Finance PLC (a),(b)	
USD 450,000	4.00% due 09/01/29	455,062
	Delta Air Lines, Inc. / SkyMiles IP, Ltd. (a)	
USD 1,150,000	4.50% due 10/20/25	1,230,449
	社債合計	1,685,511
	多国籍企業合計(簿価 \$1,598,922)	1,685,511
	オランダ(0.7%)	
	バンクローン*(0.3%)	
	Diamond (BC) B.V.	
USD 900,000	0.00% due 09/29/28	901,809
	バンクローン合計	901,809
	社債(0.4%)	
	Alcoa Nederland Holding BV (a),(b)	
USD 200,000	4.13% due 03/31/29	208,500
USD 200,000	5.50% due 12/15/27	214,686
	Dufry One BV (b)	
EUR 100,000	3.38% due 04/15/28	115,026
	Enel Finance International NV (a),(b)	
USD 250,000	2.88% due 07/12/41	243,024
	UPC Broadband Finco BV (a),(b)	
USD 500,000	4.88% due 07/15/31	511,930
	Ziggo BV (a),(b)	
USD 300,000	4.88% due 01/15/30	308,340
	社債合計	1,601,506
	オランダ合計(簿価 \$2,473,864)	2,503,315
	カタール(0.3%)	
	社債(0.3%)	
	Qatar Petroleum (a),(b)	
USD 500,000	3.13% due 07/12/41	499,760
USD 500,000	3.30% due 07/12/51	505,000
	社債合計	1,004,760
	カタール合計(簿価 \$998,170)	1,004,760
	スペイン(0.2%)	
	社債(0.2%)	
	Cellnex Finance Co. S.A. (a),(b)	
USD 650,000	3.88% due 07/07/41	638,437
	社債合計	638,437
	スペイン合計(簿価 \$643,406)	638,437
	英国(2.6%)	
	社債(2.6%)	
	Anglo American Capital PLC (a),(b)	
USD 1,450,000	2.63% due 09/10/30	1,438,720
USD 750,000	3.95% due 09/10/50	800,213
USD 200,000	5.63% due 04/01/30	241,158
	BP Capital Markets PLC (b),(c),(d)	
USD 1,480,000	4.88%	1,626,905
	Ferguson Finance PLC (a),(b)	
USD 510,000	3.25% due 06/02/30	544,360
	INEOS Quattro Finance 2 PLC (a),(b)	
USD 300,000	3.38% due 01/15/26	303,000
	Standard Chartered PLC (a),(b),(c)	
USD 1,400,000	4.64% due 04/01/31	1,613,303
	Virgin Media Finance PLC (a),(b)	
USD 200,000	5.00% due 07/15/30	204,272
	Virgin Media Secured Finance PLC (a),(b)	
USD 400,000	4.50% due 08/15/30	406,500
	Vmed O2 UK Financing I PLC (a),(b)	
GBP 650,000	4.00% due 01/31/29	883,001
	British Telecommunications PLC	

152,906

263,646

509,569

\$ 556,897

201,901

9,746,351**9,746,351****社債合計****英国合計 (簿価 \$9,444,858)****米国 (78.8%)****資産担保証券 (18.2%)**

USD 354,809	3.97% due 05/16/42	325,340
USD 2,343,147	4.45% due 11/18/38	2,275,904
USD 300,000	1.94% due 10/20/31	300,007
USD 3,105,779	2.08% due 05/25/47	504,762
USD 346,500	4.19% due 06/07/49	352,540
USD 1,584,000	3.24% due 07/30/50	1,642,085
USD 1,000,000	0.69% due 01/25/36	991,715
USD 422,380	0.23% due 11/25/36	417,254
USD 22,131,437	0.57% due 10/10/51	484,984
USD 3,750,000	1.62% due 03/01/61	3,748,321
USD 883,669	2.08% due 10/15/36	884,733
USD 1,000,000	1.75% due 09/15/36	1,000,627
USD 800,000	2.10% due 09/15/36	801,002
USD 795,598	3.87% due 04/15/47	797,563
USD 466,471	6.06% due 10/10/52	524,791
USD 997,708	3.81% due 02/15/50	1,070,800
USD 598,625	3.48% due 02/15/50	615,840
USD 500,000	2.76% due 08/15/51	497,998
USD 1,690,118	4.00% due 10/25/68	1,753,514
USD 1,353,063	4.13% due 06/15/43	1,349,350
USD 873,630	1.52% due 08/10/49	47,164
USD 237,197	2.28% due 07/15/60	240,604
USD 959,636	1.89% due 08/10/49	66,037
USD 3,234,452	1.85% due 04/10/49	201,414
USD 1,784,051	1.60% due 10/10/49	97,503
USD 99,648	2.57% due 07/20/51	99,290
USD 700,000	3.44% due 07/20/51	698,674

USD 5,910,427	1.08% due 10/10/48 CSMC 2020-RPL5 Trust Class A1 (a),(b),(c)	184,100
USD 1,474,760	3.02% due 08/25/60 CSMC 2021-RPL4 Trust Class A1 (a),(b),(c)	1,494,952
USD 948,358	1.80% due 12/27/60 CSMC 2021-RPL7 Trust Class A1 (a)	951,335
USD 1,000,000	1.93% due 07/27/61 Domino's Pizza Master Issuer LLC Class A23 (a),(b)	1,000,420
USD 241,250	4.12% due 07/25/47 Extended Stay America Trust 2021-ESH Class D (a),(c)	258,920
USD 248,706	2.33% due 07/15/38 Falcon Aerospace, Ltd. 2017-1 Class A (a)	251,789
USD 146,627	4.58% due 02/15/42 FirstKey Revolving Trust 2020-C2 (a)	146,090
USD 1,167,077	3.25% due 12/25/23 FirstKey Revolving Trust 2021-A (a)	1,167,077
USD 1,600,000	2.21% due 11/30/58 FNMA-Aces Class X1 (c)	1,600,432
USD 3,956,979	1.58% due 03/25/35 Freddie Mac Military Housing Bonds Resecuritization Trust Certificates 2015-R1 Class A3 (a),(c)	502,138
USD 892,961	4.44% due 11/25/52 Freddie Mac Military Housing Bonds Resecuritization Trust Certificates 2015-R1 Class B1 (a),(c)	1,012,299
USD 1,962,848	4.66% due 11/25/55 Freddie Mac Military Housing Bonds Resecuritization Trust Certificates 2015-R1 Class XA1 (a),(c)	2,305,039
USD 5,841,810	0.70% due 11/25/55 Freddie Mac Multifamily Structured Pass Through Certificates Class X1 (b),(c)	388,135
USD 19,451,801	0.48% due 03/25/25 GMAC Commercial Mortgage Asset Corp. 2006-NELL Class A (a)	222,359
USD 463,349	5.36% due 05/10/51 GMAC Commercial Mortgage Asset Corp. 2007-HCKM Class A (a)	504,143
USD 936,512	6.11% due 08/10/52 GS Mortgage Securities Corp. Trust 2020-DUNE Class D (a), (c)	1,084,446
USD 1,000,000	1.98% due 12/15/36 GS Mortgage Securities Corp. Trust 2020-UPTN Class D (a), (c)	996,729
USD 1,000,000	3.35% due 02/10/37 Home Equity Loan Trust 2007-FRE1 Class 1AV1 (b),(c)	1,025,314
USD 1,551,601	0.28% due 04/25/37 J.G. Wentworth XLI LLC Class B (a),(b)	1,482,667
USD 350,000	4.70% due 10/15/74 Legacy Mortgage Asset Trust 2021-GS2 Class A1 (a),(b)	408,399
USD 947,301	1.75% due 04/25/61 Legacy Mortgage Asset Trust 2021-GS3 Class A1 (a),(b)	948,220
USD 573,038	1.75% due 07/25/61 Lehman XS Trust Series 2006-12N Class A32A (b),(c)	573,503
USD 1,591,223	0.49% due 08/25/46 Lehman XS Trust Series 2007-2N Class 2A (b),(c)	1,583,615
USD 587,722	0.27% due 02/25/37 LoanCore 2021-CRE4 Issuer Ltd. Class C (a),(c)	589,385
USD 1,000,000	1.86% due 07/15/35 LSTAR Securities Investment Ltd. 2020-1 Class A (a),(b),(c)	997,800
USD 739,838	1.89% due 02/01/26 LSTAR Securities Investment Ltd. 2021-2 Class A1 (a),(c)	742,091
USD 450,552	1.79% due 03/02/26 Madison Avenue Secured Funding Trust Series 2020-1 Class A (a),(c)	450,737
USD 300,000	1.71% due 12/13/21 Morgan Stanley Bank of America Merrill Lynch Trust 2017- C34 Class XA (b),(c)	300,000
USD 15,896,914	0.92% due 11/15/52 Morgan Stanley Capital I Trust 2016-UB11 Class XA (b),(c)	615,427
USD 2,159,831	1.63% due 08/15/49 Nassau 2019 CFO LLC Class A (a),(b)	119,433
USD 366,276	3.98% due 08/15/34 OSAT 2021-RPL1 Trust Class A1 (a),(b)	370,168
USD 958,026	2.12% due 05/25/65 Oxford Finance Funding 2020-1 LLC Class A2 (a),(b)	957,947
USD 500,000	3.10% due 02/15/28	512,651

USD 965,318	PRPM 2021-5 LLC Class A1 (a),(b) 1.79% due 06/25/26	966,150
USD 1,900,000	PRPM 2021-8 LLC Class A1 (a),(b),(c) 1.74% due 09/25/26	1,897,616
USD 107,377	RALI Series 2006-QO2 Trust Class A1 (b),(c) 0.53% due 02/25/46	31,102
USD 565,244	Raspro Trust 2005-1A Class B (a),(c) 1.06% due 03/23/24	565,243
USD 75,000	Ready Captial Mortgage Financing 2019-FL3 LLC Class B (a), (c) 1.74% due 03/25/34	75,000
USD 615,000	Sabey Data Center Issuer LLC Class A2 (a),(b) 3.81% due 04/20/45	647,081
USD 597,000	ServiceMaster Funding LLC Class A2II (a),(b) 3.34% due 01/30/51	617,802
USD 1,000,000	Station Place Securitization Trust 2021-WL1 Class E (a),(c) 2.09% due 01/26/54	997,479
USD 2,600,000	Station Place Securitization Trust 2021-WL2 Class E (a),(b), (c) 1.59% due 03/25/54	2,599,934
USD 193,583	STORE Master Funding I LLC 2015-1A Class A2 (a),(b) 4.17% due 04/20/45	201,650
USD 906,229	STORE Master Funding I-VII Class A1 (a),(b) 3.96% due 10/20/46	951,851
USD 949,511	STORE Master Funding I-VII Class A2 (a),(b) 4.29% due 10/20/48	1,012,516
USD 1,400,000	Strategic Partners VIII Fund (e) 0.00% due 03/10/25	1,414,000
USD 191,500	Taco Bell Funding LLC 2016-1A Class A23 (a),(b) 4.97% due 05/25/46	205,084
USD 500,000	Taco Bell Funding LLC Class A2II (a),(b) 2.29% due 08/25/51	497,701
USD 165,794	TCP Waterman CLO, Ltd. 2016-1A Class A1ST (a),(c) 2.17% due 12/15/28	165,809
USD 5,150,366	UBS Commercial Mortgage Trust 2017-C2 Class XA (b),(c) 1.20% due 08/15/50	242,727
USD 1,000,000	Vault DI Issuer LLC Class A2 (a),(b) Vault DI Issuer LLC Class A2 (a),(b) 2.80% due 07/15/46	1,001,260
USD 500,000	VB-S1 Issuer LLC Class C2 (a),(b) 3.03% due 06/15/50	521,105
USD 419,419	Wachovia Asset Securitization Issuance II LLC 2007-HE2 Trust Class A (a),(c) 0.22% due 07/25/37	402,577
USD 693,740	Washington Mutual Mortgage Pass-Through Certificates WMALT Series 2006-AR9 Trust Class 1A (b),(c) 0.92% due 11/25/46	637,491
USD 157,424	Wells Fargo Commercial Mortgage Trust 2015-NXS1 Class A2 (b) 2.63% due 05/15/48	157,386
USD 8,680,326	Wells Fargo Commercial Mortgage Trust 2016-C37 Class XA (b),(c) 1.06% due 12/15/49	266,474
USD 3,782,005	Wells Fargo Commercial Mortgage Trust 2016-NXS5 Class XA (b),(c) 1.59% due 01/15/59	190,225
USD 248,750	Wingstop Funding LLC Class A2 (a),(b) 2.84% due 12/05/50	255,761
USD 1,250,000	Woodmont 2020-7 Trust Class A1A (a),(c) 2.03% due 01/15/32	1,256,250
USD 500,000	ZH Trust 2021-1 Class A (a) 2.25% due 02/18/27	500,551
USD 1,000,000	ZH Trust 2021-2 Class A (a) 2.35% due 10/17/27	999,420
	資産担保証券合計	66,814,821
	バンクローン* (4.0%)	
USD 494,872	Alterra Mountain Company 4.00% due 08/17/28	494,409
USD 198,500	AmWINS Group, Inc. 3.00% due 02/19/28	197,509
USD 150,000	Apttus Corporation 5.00% due 05/08/28	150,969
USD 346,500	Ascend Learning, LLC 4.75% due 07/12/24	347,366

USD 495,627	Cambrex Corp. 4.25% due 12/04/26	496,952
USD 895,500	Citadel Securities LP 2.58% due 02/02/28	888,466
USD 497,500	CP Atlas Buyer, Inc. 4.25% due 11/23/27	496,624
USD 147,743	Cushman & Wakefield U.S. Borrower, LLC 2.83% due 08/21/25	146,654
USD 148,496	Deerfield Dakota Holding, LLC 4.75% due 04/09/27	149,111
USD 641,681	DiversiTech Holdings, Inc. 4.25% due 12/02/24	642,284
USD 248,750	Energizer Holdings, Inc. 2.75% due 12/22/27	249,009
USD 393,636	Filtration Group Corp. 3.08% due 03/31/25	392,191
USD 342,641	Graftech International Ltd. 3.50% due 02/12/25	343,528
USD 574,006	Hamilton Holdco LLC 2.14% due 01/02/27	572,302
USD 791,980	Hamilton Projects Acquiror, LLC 5.75% due 06/17/27	796,067
USD 248,895	Help at Home, LLC 6.00% due 10/29/27	249,517
USD 62,560	Higginbotham Insurance Agency, Inc. 5.28% due 11/25/26 (f)	61,622
USD 271,756	HighTower Holding, LLC 6.25% due 11/25/26	267,679
USD 200,000	ITT Holdings LLC (f) 4.75% due 04/21/28	200,281
USD 200,000	Jane Street Group, LLC 3.25% due 07/10/28	200,125
USD 545,376	Mavis Tire Express Services Topco Corp. 2.83% due 01/26/28	540,672
USD 399,000	Midwest Veterinary Partners, LLC 4.75% due 04/27/28	400,428
USD 250,000	Mileage Plus Holdings LLC 6.25% due 06/21/27	250,313
USD 400,000	National Mentor Holdings, Inc. 4.50% due 03/02/28	425,376
USD 239,978	Orion Advisor Solutions, Inc. 4.50% due 09/24/27	240,278
USD 199,000	Park River Holdings, Inc. 4.00% due 12/28/27	199,394
USD 29,832	Peraton Corp. 4.50% due 02/01/28	29,748
USD 447,750	PetIQ, LLC 4.75% due 04/13/28	448,800
USD 498,750	Planview Parent, Inc. 4.75% due 12/17/27	496,880
USD 397,000	ProQuest LLC 3.33% due 10/23/26	398,739
USD 267,631	Recorded Books Inc. 4.08% due 08/29/25	267,691
USD 141,138	Southern Veterinary Partners, LLC 5.00% due 10/05/27	141,469
USD 347,587	SP PF Buyer LLC 4.58% due 12/22/25	349,325
USD 347,328	TransDigm Inc. 2.33% due 12/09/25	342,118
USD 888,693	Upland Software, Inc. 3.83% due 08/06/26	878,927
USD 346,091	USI, Inc. 3.38% due 12/02/26	346,480
USD 247,489	Waystar Technologies, Inc. 4.08% due 10/22/26	246,310
USD 1,188,225	Xplornet Communications Inc. 4.84% due 06/10/27	1,190,453
USD 246,875		247,051
	バンクローン合計	14,783,117
	社債 (32.5%)	
USD 350,000	Acadia Healthcare Co., Inc. (a),(b) 5.00% due 04/15/29	364,437
	AES Corp. (a),(b)	

USD 360,000	3.95% due 07/15/30 Allison Transmission, Inc. (a),(b)	395,863
USD 200,000	3.75% due 01/30/31 Altria Group, Inc. (b)	194,500
USD 490,000	3.40% due 05/06/30	517,991
USD 1,100,000	3.70% due 02/04/51	1,038,969
USD 90,000	4.45% due 05/06/50 Amazon.com, Inc. (b)	94,367
USD 340,000	2.70% due 06/03/60 Amcor Flexibles North America, Inc. (b)	318,847
USD 240,000	2.63% due 06/19/30 American International Group, Inc. (b)	244,796
USD 950,000	4.38% due 06/30/50 Americo Life, Inc. (a)	1,166,840
USD 410,000	3.45% due 04/15/31 Amsted Industries, Inc. (a),(b)	412,483
USD 200,000	4.63% due 05/15/30 Apollo Management Holdings LP (a),(b)	205,500
USD 240,000	2.65% due 06/05/30 Aramark Services, Inc. (a),(b)	242,105
USD 20,000	5.00% due 02/01/28 Ares Finance Co. II LLC (a),(b)	20,550
USD 700,000	3.25% due 06/15/30 Arizona Public Service Co. (b)	730,142
USD 280,000	3.35% due 05/15/50 Assurant, Inc. (b)	291,268
USD 500,000	2.65% due 01/15/32 Assured Guaranty US Holdings, Inc. (b)	494,990
USD 300,000	3.15% due 06/15/31	314,227
USD 150,000	3.60% due 09/15/51 AT&T, Inc. (b)	152,115
USD 690,000	2.75% due 06/01/31 Avantor Funding, Inc. (a),(b)	706,894
USD 200,000	4.63% due 07/15/28 Baker Hughes a GE Co. LLC / Baker Hughes Co.-Obligor, Inc. (b)	210,510
USD 90,000	4.49% due 05/01/30 Bank of America Corp. (b),(c)	105,182
USD 1,400,000	2.68% due 06/19/41 Bank of New York Mellon Corp. (b),(c),(d)	1,348,578
USD 230,000	4.70% BAT Capital Corp. (b)	252,425
USD 1,700,000	3.98% due 09/25/50 Belrose Funding Trust (a),(b)	1,644,239
USD 550,000	2.33% due 08/15/30 Bimbo Bakeries USA, Inc. (a),(b)	541,943
USD 200,000	4.00% due 05/17/51 Blackstone Holdings Finance Co. LLC (a),(b)	216,171
USD 1,700,000	2.80% due 09/30/50 Boeing Co. (b)	1,626,400
USD 1,000,000	3.63% due 02/01/31	1,070,051
USD 1,680,000	5.15% due 05/01/30	1,967,616
USD 840,000	5.71% due 05/01/40	1,069,908
USD 840,000	5.81% due 05/01/50 Boxer Parent Co., Inc. (a),(b)	1,115,714
USD 150,000	7.13% due 10/02/25 British Airways 2020-1 Class A Pass Through Trust (a)	160,125
USD 904,325	4.25% due 05/15/34 Broadcom, Inc. (b)	974,367
USD 200,000	2.45% due 02/15/31	193,754
USD 545,000	3.19% due 11/15/36 (a),(b)	542,520
USD 845,000	4.15% due 11/15/30 Brookfield Finance LLC (b)	935,736
USD 100,000	3.45% due 04/15/50 Brown & Brown, Inc. (b)	102,893
USD 800,000	2.38% due 03/15/31 Bunge Ltd. Finance Corp. (b)	796,599
USD 150,000	1.63% due 08/17/25 California Institute of Technology (b)	151,507
USD 425,000	3.65% due 09/01/19 Carpenter Technology Corp. (b)	478,746
USD 440,000	6.38% due 07/15/28 CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. (a),(b)	473,194
USD 50,000	4.25% due 02/01/31 Central Garden & Pet Co. (a),(b)	50,750

USD 250,000	4.13% due 04/30/31 Charles Schwab Corp. (b),(c),(d)	
USD 1,050,000	4.00% Charter Communications Operating LLC / Charter Communications Operating Capital (b)	1,079,883
USD 400,000	2.25% due 01/15/29	399,315
USD 1,050,000	2.80% due 04/01/31	1,051,157
USD 300,000	3.90% due 06/01/52 Cheniere Corpus Christi Holdings LLC (a),(b)	297,515
USD 100,000	2.74% due 12/31/39	98,905
USD 1,300,000	3.52% due 12/31/39 Chevron USA, Inc. (b)	1,312,337
USD 350,000	2.34% due 08/12/50 Choice Hotels International, Inc. (b)	314,570
USD 780,000	3.70% due 01/15/31 Citigroup, Inc. (b),(c)	841,082
USD 1,000,000	2.57% due 06/03/31	1,018,210
USD 1,200,000	3.88% (d)	1,226,760
USD 400,000	4.00% (d) CoStar Group, Inc. (a),(b)	414,480
USD 1,140,000	2.80% due 07/15/30 CSC Holdings LLC (a),(b)	1,158,246
USD 200,000	3.38% due 02/15/31	186,000
USD 400,000	4.13% due 12/01/30 Cushman & Wakefield US Borrower LLC (a),(b)	392,500
USD 293,000	6.75% due 05/15/28 CyrusOne LP / CyrusOne Finance Corp. (b)	317,905
USD 850,000	2.15% due 11/01/30 Daddy Operating Co. LLC / GD Finance Co., Inc. (a),(b)	798,728
USD 300,000	3.50% due 03/01/29 DaVita, Inc. (a),(b)	297,375
USD 530,000	3.75% due 02/15/31	516,087
USD 191,000	4.63% due 06/01/30 Delta Air Lines, Inc. (a)	196,465
USD 1,795,000	7.00% due 05/01/25 EnerSys (a),(b)	2,093,308
USD 50,000	4.38% due 12/15/27 Equitable Holdings, Inc. (b),(c),(d)	52,625
USD 950,000	4.95% Everest Reinsurance Holdings, Inc. (b)	1,030,750
USD 620,000	3.50% due 10/15/50 Fidelity National Financial, Inc. (b)	657,878
USD 960,000	2.45% due 03/15/31	953,732
USD 680,000	3.40% due 06/15/30 First American Financial Corp. (b)	729,515
USD 610,000	4.00% due 05/15/30 Florida Gas Transmission Co. LLC (a),(b)	673,432
USD 500,000	2.30% due 10/01/31	490,335
USD 200,000	2.55% due 07/01/30 Flowserve Corp. (b)	202,069
USD 100,000	2.80% due 01/15/32	98,838
USD 860,000	3.50% due 10/01/30 Fort Benning Family Communities LLC (a)	897,065
USD 449,000	5.81% due 01/15/51 FS KKR Capital Corp. (b)	581,101
USD 450,000	2.63% due 01/15/27 Gartner, Inc. (a),(b)	450,885
USD 800,000	3.75% due 10/01/30 GATX Corp. (b)	823,360
USD 570,000	4.00% due 06/30/30 Global Atlantic Finance Co. (a),(b)	635,317
USD 350,000	3.13% due 06/15/31	354,490
USD 500,000	4.70% due 10/15/51 Global Payments, Inc. (b)	516,916
USD 350,000	2.90% due 05/15/30 GLP Capital LP / GLP Financing II, Inc. (b)	360,751
USD 580,000	4.00% due 01/15/31	625,826
USD 450,000	5.30% due 01/15/29 Goldman Sachs Group, Inc. (b),(c),(d)	526,122
USD 350,000	3.80% Graphic Packaging International LLC (a),(b)	358,312
USD 65,000	3.50% due 03/01/29 GXO Logistics, Inc. (a),(b)	64,675
USD 200,000	2.65% due 07/15/31 Hanesbrands, Inc. (a),(b)	198,628

USD 100,000	5.38% due 05/15/25 Health Care Service Corp. A Mutual Legal Reserve Co. (a),(b)	104,688
USD 320,000	3.20% due 06/01/50 Healthcare Trust of America Holdings LP (b)	328,225
USD 850,000	2.00% due 03/15/31 Hilton Domestic Operating Co., Inc. (a),(b)	813,972
USD 550,000	3.75% due 05/01/29 Hologic, Inc. (a),(b)	555,500
USD 850,000	3.25% due 02/15/29 Home Point Capital, Inc. (a),(b)	853,204
USD 100,000	5.00% due 02/01/26 Host Hotels & Resorts LP (b)	90,652
USD 720,000	3.50% due 09/15/30 Howmet Aerospace, Inc.	747,160
USD 48,000	6.75% due 01/15/28	58,440
USD 2,000	6.88% due 05/01/25 Hunt Cos, Inc. (a),(b)	2,340
USD 400,000	5.25% due 04/15/29 Hunt MH Borrower LLC Fee II	392,000
USD 350,000	5.25% due 12/21/48 Hyatt Hotels Corp. (b)	361,725
USD 390,000	5.38% due 04/23/25	435,467
USD 350,000	5.75% due 04/23/30 Intercontinental Exchange, Inc. (b)	419,757
USD 410,000	3.00% due 06/15/50 Iron Mountain, Inc. (a),(b)	404,206
USD 175,000	4.50% due 02/15/31	177,503
USD 575,000	5.25% due 07/15/30	610,207
USD 200,000	5.63% due 07/15/32 ITT Holdings LLC (a),(b)	214,500
USD 500,000	6.50% due 08/01/29 Jaguar Holding Co. II / PPD Development LP (a),(b)	504,375
USD 475,000	4.63% due 06/15/25 Jefferies Finance LLC / JFIN Co.-Issuer Corp. (a),(b)	493,406
USD 500,000	5.00% due 08/15/28 Jefferies Group LLC (b)	507,500
USD 640,000	2.75% due 10/15/32 Johns Hopkins University (b)	640,454
USD 500,000	2.81% due 01/01/60 JPMorgan Chase & Co. (b),(c)	507,249
USD 380,000	2.96% due 05/13/31	394,681
USD 500,000	3.65% (d)	500,625
USD 400,000	4.49% due 03/24/31 Kemper Corp. (b)	466,286
USD 1,700,000	2.40% due 09/30/30 Kennedy-Wilson, Inc. (b)	1,681,409
USD 300,000	4.75% due 03/01/29	305,250
USD 100,000	4.75% due 02/01/30	101,750
USD 350,000	5.13% due 06/01/44 KKR Group Finance Co. III LLC (a),(b)	451,496
USD 460,000	3.50% due 08/25/50 Kraft Heinz Foods Co.	484,043
USD 340,000	4.38% due 06/01/46	386,817
USD 125,000	4.88% due 10/01/49	152,120
USD 100,000	5.00% due 06/04/42	122,601
USD 125,000	5.50% due 06/01/50 Kuvare US Holdings, Inc. (a),(b),(c)	164,560
USD 200,000	7.00% due 02/17/51 Lamar Media Corp. (b)	215,688
USD 200,000	3.63% due 01/15/31 Lamb Weston Holdings, Inc. (a),(b)	200,000
USD 400,000	4.88% due 11/01/26 Leidos, Inc. (b)	409,808
USD 550,000	2.30% due 02/15/31	537,377
USD 50,000	4.38% due 05/15/30 Level 3 Financing, Inc. (a),(b)	56,703
USD 700,000	3.63% due 01/15/29	678,804
USD 200,000	3.75% due 07/15/29	193,296
USD 150,000	3.88% due 11/15/29	160,395
USD 513,000	4.25% due 07/01/28 Liberty Mutual Group, Inc. (a),(b)	516,965
USD 470,000	3.95% due 05/15/60	520,428
USD 1,350,000	4.30% due 02/01/61 Liberty Utilities Finance GP 1 (a),(b)	1,286,037

USD 850,000	2.05% due 09/15/30 Lincoln National Corp. (b)	
USD 260,000	4.38% due 06/15/50 Lowe's Cos, Inc. (b)	314,225
USD 100,000	1.70% due 09/15/28 Magellan Midstream Partners LP (b)	99,027
USD 330,000	3.25% due 06/01/30 Markel Corp. (b),(c),(d)	352,392
USD 1,120,000	6.00% Marriott International, Inc. (b)	1,240,960
USD 560,000	2.85% due 04/15/31	566,519
USD 570,000	3.50% due 10/15/32	604,837
USD 560,000	4.63% due 06/15/30	639,150
USD 440,000	5.75% due 05/01/25 Marriott International, Inc./MDMarriott International, Inc. (b)	503,017
USD 500,000	2.75% due 10/15/33 Match Group Holdings II LLC (a),(b)	488,392
USD 200,000	4.63% due 06/01/28 Mav Acquisition Corp. (a),(b)	208,500
USD 600,000	5.75% due 08/01/28 MetLife, Inc. (b),(c),(d)	589,500
USD 1,700,000	3.85% Midwest Connector Capital Co. LLC (a),(b)	1,782,875
USD 210,000	4.63% due 04/01/29 Mileage Plus Holdings LLC / Mileage Plus Intellectual Property Assets Ltd. (a),(b)	225,539
USD 500,000	6.50% due 06/20/27 Minerals Technologies, Inc. (a),(b)	543,574
USD 255,000	5.00% due 07/01/28 Morgan Stanley (b),(c)	264,562
USD 1,000,000	2.48% due 09/16/36 Mozart Debt Merger Sub, Inc. (a),(b)	977,963
USD 1,150,000	3.88% due 04/01/29 MSCI, Inc. (a),(b)	1,150,000
USD 242,000	3.63% due 09/01/30	250,167
USD 24,000	3.88% due 02/15/31 Nasdaq, Inc. (b)	25,170
USD 190,000	3.25% due 04/28/50 Nationwide Mutual Insurance Co. (a),(b)	190,967
USD 1,670,000	4.35% due 04/30/50 NetApp, Inc. (b)	1,897,552
USD 1,126,000	2.70% due 06/22/30 New Enterprise Stone & Lime Co., Inc. (a),(b)	1,155,927
USD 150,000	6.25% due 03/15/26 NFP Corp. (a),(b)	155,100
USD 400,000	6.88% due 08/15/28 Nielsen Finance LLC / Nielsen Finance Co. (a),(b)	408,420
USD 100,000	4.50% due 07/15/29 Norfolk Southern Corp. (b)	97,780
USD 100,000	4.10% due 05/15/21 NRG Energy, Inc. (a),(b)	111,936
USD 400,000	2.45% due 12/02/27 NuStar Logistics LP (b)	405,618
USD 250,000	6.38% due 10/01/30 Occidental Petroleum Corp. (b)	275,000
USD 140,000	3.00% due 02/15/27	139,892
USD 400,000	4.63% due 06/15/45 OneAmerica Financial Partners, Inc. (a),(b)	409,000
USD 870,000	4.25% due 10/15/50 Oracle Corp. (b)	923,834
USD 500,000	3.95% due 03/25/51 Orlando Health Obligated Group	529,842
USD 1,000,000	2.89% due 10/01/35 Oshkosh Corp. (b)	1,040,212
USD 70,000	3.10% due 03/01/30 Owens Corning (b)	73,502
USD 100,000	3.88% due 06/01/30 Papa John's International, Inc. (a),(b)	110,139
USD 1,000,000	3.88% due 09/15/29 PartnerRe Finance B LLC (b),(c)	992,380
USD 220,000	4.50% due 10/01/50 Penn Mutual Life Insurance Co. (a)	231,750
USD 200,000	3.80% due 04/29/61 PerkinElmer, Inc. (b)	207,465
USD 1,000,000	2.25% due 09/15/31	985,276

USD 350,000	PetSmart, Inc. / PetSmart Finance Corp. (a),(b) 4.75% due 02/15/28	360,719
USD 350,000	Post Holdings, Inc. (a),(b) 4.50% due 09/15/31	345,846
USD 125,000	4.63% due 04/15/30	125,966
USD 75,000	Presidio Holdings, Inc. (a),(b) 4.88% due 02/01/27	77,437
USD 175,000	Prime Security Services Borrower LLC / Prime Finance, Inc. (a),(b) 3.38% due 08/31/27	168,263
USD 1,000,000	Providence St Joseph Health Obligated Group (b) 2.70% due 10/01/51	952,278
USD 230,000	Prudential Financial, Inc. (b),(c) 3.70% due 10/01/50	239,457
USD 150,000	Qorvo, Inc. (b) 3.38% due 04/01/31	158,160
USD 290,000	4.38% due 10/15/29	316,100
USD 1,004,000	Quanta Services, Inc. (b) 2.90% due 10/01/30	1,037,453
USD 850,000	Radiate Holdco LLC / Radiate Finance, Inc. (a),(b) 4.50% due 09/15/26	877,625
USD 250,000	Raymond James Financial, Inc. (b) 3.75% due 04/01/51	277,632
USD 1,360,000	Reinsurance Group of America, Inc. (b) 3.15% due 06/15/30	1,444,302
USD 1,380,000	Reliance Standard Life Global Funding II (a) 2.75% due 05/07/25	1,446,203
USD 750,000	Rocket Mortgage LLC / Rocket Mortgage Co.-Issuer, Inc. (a), (b) 3.88% due 03/01/31	756,563
USD 890,000	Sabine Pass Liquefaction LLC (b) 4.50% due 05/15/30	1,024,841
USD 450,000	Safehold Operating Partnership LP (b) 2.80% due 06/15/31	450,721
USD 500,000	SBA Communications Corp. (b) 3.13% due 02/01/29	483,125
USD 75,000	3.88% due 02/15/27	77,719
USD 250,000	Scotts Miracle-Gro Co. (a),(b) 4.00% due 04/01/31	249,530
USD 1,050,000	Sealed Air Corp. (a),(b) 1.57% due 10/15/26	1,043,577
USD 150,000	Service Corp. International (b) 3.38% due 08/15/30	149,813
USD 300,000	Sirius XM Radio, Inc. (a),(b) 4.13% due 07/01/30	301,391
USD 150,000	Six Flags Theme Parks, Inc. (a),(b) 7.00% due 07/01/25	159,750
USD 850,000	Smithfield Foods, Inc. (a),(b) 2.63% due 09/13/31	825,343
USD 490,000	3.00% due 10/15/30	492,682
USD 197,000	Snap-on, Inc. (b) 3.10% due 05/01/50	206,023
USD 150,000	Square, Inc. (a),(b) 2.75% due 06/01/26	152,048
USD 200,000	Standard Industries, Inc. (a),(b) 3.38% due 01/15/31	190,340
USD 175,000	4.38% due 07/15/30	178,500
USD 90,000	5.00% due 02/15/27	92,813
USD 250,000	Suburban Propane Partners LP/Suburban Energy Finance Corp. (b) 5.88% due 03/01/27	260,625
USD 100,000	Syneos Health, Inc. (a),(b) 3.63% due 01/15/29	99,720
USD 300,000	SYNNEX Corp. (a),(b) 2.38% due 08/09/28	296,782
USD 500,000	2.65% due 08/09/31	488,430
USD 746,000	Sysco Corp. (b) 5.95% due 04/01/30	948,016
USD 100,000	Tenet Healthcare Corp. (a),(b) 4.63% due 06/15/28	103,616
USD 1,000,000	Textron, Inc. (b) 2.45% due 03/15/31	1,000,875
USD 60,000	3.00% due 06/01/30	62,983
USD 1,000,000	T-Mobile USA, Inc. (b) 2.55% due 02/15/31	1,002,438

USD 100,000	2.88% due 02/15/31 TriNet Group, Inc. (a),(b)	100,850
USD 350,000	3.50% due 03/01/29 Twilio, Inc. (b)	350,875
USD 57,000	3.63% due 03/15/29 United Airlines, Inc. (a),(b)	58,311
USD 600,000	4.38% due 04/15/26 United Wholesale Mortgage LLC (a),(b)	615,750
USD 250,000	5.50% due 11/15/25	251,875
USD 550,000	5.50% due 04/15/29 Universal Health Services, Inc. (a),(b)	533,997
USD 800,000	2.65% due 10/15/30 University of Chicago (b)	803,632
USD 150,000	2.76% due 04/01/45 US Foods, Inc. (a),(b)	152,652
USD 148,000	4.75% due 02/15/29	151,885
USD 350,000	6.25% due 04/15/25 Valero Energy Corp. (b)	367,133
USD 850,000	2.15% due 09/15/27 ViacomCBS, Inc. (b)	855,502
USD 1,085,000	4.95% due 01/15/31	1,294,763
USD 510,000	4.95% due 05/19/50 Vontier Corp. (a),(b)	637,065
USD 700,000	2.95% due 04/01/31 W R Berkley Corp. (b)	695,597
USD 140,000	4.00% due 05/12/50 Walgreens Boots Alliance, Inc. (b)	160,862
USD 283,000	4.10% due 04/15/50 Wells Fargo & Co. (b),(c),(d)	312,359
USD 650,000	3.90% Western & Southern Life Insurance Co. (a),(b)	670,313
USD 150,000	3.75% due 04/28/61 Weyerhaeuser Co. (b)	161,381
USD 68,000	4.00% due 04/15/30 WMG Acquisition Corp. (a),(b)	76,737
USD 125,000	3.00% due 02/15/31 Yale-New Haven Health Services Corp. (b)	122,031
USD 1,000,000	2.50% due 07/01/50 Zayo Group Holdings, Inc. (a),(b)	924,496
USD 400,000	4.00% due 03/01/27 Zimmer Biomet Holdings, Inc. (b)	398,092
USD 460,000	3.55% due 03/20/30	502,623
	社債合計	119,806,741
	国債 (22.1%)	
USD 1,400,000	Federal Farm Credit Banks Funding Corp. 2.70% due 01/30/45	1,474,431
USD 100,000	2.88% due 10/01/40 Federal Home Loan Mortgage Corp. (e)	109,033
USD 1,500,000	0.00% due 09/15/36	1,086,229
USD 250,000	0.00% due 11/15/38 FNMA (j)	169,001
USD 11,250,000	2.50% due 11/01/51 FNMA Pool	11,570,801
USD 981,262	2.00% due 09/01/50	928,232
USD 3,343,521	2.07% due 10/01/50	3,192,040
USD 1,572,775	2.16% due 10/01/50	1,521,207
USD 353,664	2.56% due 07/01/29	376,507
USD 892,720	3.19% due 09/01/32	961,482
USD 1,634,902	3.24% due 11/01/32	1,790,465
USD 500,000	3.89% due 06/01/31	553,829
USD 716,508	3.99% due 09/01/33	814,825
USD 200,000	4.04% due 07/01/48	233,251
USD 2,000,000	4.17% due 02/01/49	2,383,715
USD 958,437	4.27% due 12/01/33	1,117,900
USD 680,585	4.27% due 09/01/48 FNMA Principal Strip (e)	725,698
USD 4,500,000	0.00% due 07/15/37 Tennessee Valley Authority	3,161,234
USD 1,700,000	4.25% due 09/15/65	2,365,329
USD 250,000	5.38% due 04/01/56 Tennessee Valley Authority Principal Strip (e)	400,639
USD 400,000	0.00% due 09/15/39	252,902
USD 450,000	0.00% due 01/15/48	223,422
USD 4,750,000	0.00% due 09/15/60	1,634,627

USD 13,000,000	U.S. Treasury Bond (g) 2.00% due 08/15/51	12,737,969
USD 5,000,000	U.S. Treasury Note 0.75% due 08/31/26	4,944,141
USD 27,400,000	1.25% due 08/15/31 (h),(i)	26,702,156
	国債合計	81,431,065
	地方債 (2.0%)	
USD 1,000,000	Cypress School District (e) 0.00% due 08/01/48	406,424
USD 1,000,000	Dallas Fort Worth International Airport 2.92% due 11/01/50	1,002,458
USD 700,000	Health Care Authority for Baptist Health 5.50% due 11/15/43	911,644
USD 950,000	Illinois State Finance Authority 6.29% due 07/01/33	1,187,908
USD 1,000,000	Medical Center Educational Building Corp. (b) 2.92% due 06/01/41	988,492
USD 400,000	Mississippi Development Bank (b) 6.50% due 10/01/31	401,246
USD 350,000	Oklahoma Development Finance Authority 4.65% due 08/15/30	410,264
USD 200,000	State of New York Mortgage Agency (b) 3.85% due 10/01/44	205,581
USD 500,000	Westchester County Local Development Corp. (b) 3.85% due 11/01/50	524,676
USD 2,665,000	Wylie Independent School District (b),(e) 0.00% due 08/15/43	1,217,281
	地方債合計	7,255,974
	米国合計 (簿価 \$287,022,789)	290,091,718
	債券合計 (簿価 \$370,464,528)	374,070,103
	株数	
	優先株 (2.5%)	
	パミューダ (0.3%)	
22,000	Arch Capital Group Ltd.(b),(d) 4.55%	576,400
16,000	RenaissanceRe Holdings Ltd.(b),(d) 4.20%	398,400
	パミューダ合計 (簿価 \$950,000)	974,800
	米国 (2.2%)	
43,252	American Financial Group, Inc.(b) 4.50% due 09/15/60	1,180,347
8,400	Assurant, Inc.(b) 5.25% due 01/15/61	225,876
30,000	Bank of America Corp.(b),(d) 4.13%	771,300
24,000	4.38%	632,400
10,000	CNO Financial Group, Inc. 5.13% due 11/25/60	262,310
28,000	Equitable Holdings, Inc.(b),(d) 4.30%	700,000
26,000	First Republic Bank(b),(d) 4.13%	649,740
36,000	4.25%	903,600
16,000	JPMorgan Chase & Co.(b),(d) 4.63%	422,400
4,070	Public Storage(b),(d) 4.13%	106,227
23,076	4.63%	629,513
8,000	Selective Insurance Group, Inc.(b),(d) 4.60%	208,240
20,851	W R Berkley Corp.(b) 4.13% due 03/30/61	554,637
3,537	4.25% due 09/30/60	95,923
34,000	Wells Fargo & Co.(b),(d) 4.70%	893,520
	米国合計 (簿価 \$7,879,650)	8,236,033
	優先株 (Cost \$8,829,650)	9,210,833
	契約数	
	金利キャップオプション (0.2%)	
	米国 (0.2%)	
700,000	CMS Swap 2 Year, Put, Strike Price 0.395 Expiration date 07/29/22	3,969
111,300,000	CMS Swap 2 Year, Put, Strike Price 0.395 Expiration date 07/29/22	631,071

37,000,000	CMS Swap 2 Year, Put, Strike Price 0.605 Expiration date 07/29/22					
	米国合計					781,560
	金利キャップオプション合計(支払プレミアム \$307,357)					781,560
	インデックスオプション(0.1%)					
	米国(0.1%)					
25	SPX Put, Strike Price 4340 Expiration date 11/19/21					328,250
	米国合計					328,250
	インデックスオプション合計(支払プレミアム \$307,375)					328,250
元本						
	短期投資(6.9%)					
	ケイマン諸島(0.0%)(k)					
	定期預金(0.0%)(k)					
	Brown Brothers Harriman & Co.					
JPY 85	-0.41% due 10/01/21					1
	定期預金合計					1
	ケイマン諸島合計(簿価 \$1)					1
	スウェーデン(5.1%)					
	定期預金(5.1%)					
	Skandinaviska Enskilda Banken					
USD 18,730,171	0.01% due 10/01/21					18,730,171
	定期預金合計					18,730,171
	スウェーデン合計(簿価 \$18,730,171)					18,730,171
	米国(1.8%)					
	コマーシャル・ペーパー(1.8%)					
	Amphenol Corp.(a)					
USD 3,300,000	0.08% due 10/01/21					3,300,000
	Societe Generale S.A.(a)					
USD 3,300,000	0.04% due 10/01/21					3,300,000
	コマーシャル・ペーパー合計					6,600,000
	米国合計(簿価 \$6,600,000)					6,600,000
	短期投資合計(簿価 \$25,330,172)					25,330,172
	投資総額(簿価 \$405,239,082)					
	現金および他の資産を超過する負債					
		111.2			\$	409,720,918
	純資産	(11.2)				(41,404,891)
		100.0%				\$368,316,027

* バンクローンは変動利付債務です。記載されているクーポンレートは期末時点のものです。

(a) 144A 証券 - 1933年証券取引法の規則144A の下でSECへの登録の適用除外になっている証券。これらの証券は、適格機関投資家に対することで登録せずに転売が可能です。他に記載がない限り、これらの証券は非流動性資産とはみなされません。

(b) 期前償還条項付き証券

(c) 2021年9月30日時点レートでの変動金利証券

(d) 永久債

(e) ゼロクーポン債

(f) 当該残高の全てもしくは一部が期末時点における未決済の貸出予約を表しています。未決済の貸出予約のクーポンレートを含む詳細について、受渡日前に入手することはできません。

(g) この証券の776,049ドルは、中央清算されたスワップ取引のために、バンクオブアメリカとの非現金担保として保有されています。

(h) この有価証券の全部または一部は、2021年9月30日時点において、買い現先取引の相手方との担保として差し入れられています。

(i) この有価証券の全部または一部は、2021年9月30日時点において、外国為替先渡取引の相手方との担保として差し入れられています。

(j) TBA証券を指します。元本の近似値と満期日をもとに先渡ベースで取引されています。

(k) 比率は、純資産の0.05%未満です。

インデックスオプション取引の売建 2021年9月30日現在(純資産の-0.0%)

取引相手	証券の明細	満期日	通貨	想定元本	支払(受取) プレミアム	評価額
Citibank N.A.	CBOE, Put, Strike Price 3980	11/19/2021	USD	(25)	\$ (144,135)	\$ (103,025)
					\$ (144,135)	\$ (103,025)

ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンドの外国為替先渡取引 2021年9月30日現在(純資産の0.1%)

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益 (損)
ILS	Goldman Sachs Group, Inc.	100,250	11/30/2021	USD	26,733	\$ 4,358	\$ -	\$ 4,358
ILS	Goldman Sachs Group, Inc.	8,120,250	11/30/2022	USD	2,172,352	362,231	-	362,231
JPY	Barclays Bank PLC	101,050,500	12/20/2021	USD	963,211	-	(56,843)	(56,843)
JPY	Morgan Stanley Capital Service	7,734	12/20/2021	USD	74	-	(5)	(5)
USD	Bank of America N.A.	910,861	10/18/2021	GBP	660,000	20,935	-	20,935
USD	Morgan Stanley Capital Service	118,115	10/18/2021	EUR	100,000	2,188	-	2,188
USD	Goldman Sachs Group, Inc.	29,923	11/30/2021	ILS	100,250	-	(1,168)	(1,168)
USD	Goldman Sachs Group, Inc.	998,424	12/20/2021	JPY	101,050,500	92,056	-	92,056
USD	JP Morgan Chase N.A.	73	12/20/2021	JPY	7,734	3	-	3
USD	Goldman Sachs Group, Inc.	2,462,921	11/30/2022	ILS	8,120,250	-	(71,662)	(71,662)
						\$ 481,771	\$ (129,678)	\$ 352,093

豪ドル・クラスの外国為替先渡取引残高 2021年9月30日現在(純資産の-0.0%)

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益 (損)
AUD	Citibank N.A.	11,918,288	10/13/2021	USD	8,823,544	\$ -	\$ (214,054)	\$ (214,054)
USD	Citibank N.A.	1,401,745	10/13/2021	AUD	1,897,176	31,270	-	31,270
						\$ 31,270	\$ (214,054)	\$ (182,784)

円ヘッジ・クラスの外国為替先渡取引残高 2021年9月30日現在(純資産の-0.1%)

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益 (損)
JPY	Citibank N.A.	2,589,161,597	10/13/2021	USD	23,527,140	\$ -	\$ (320,099)	\$ (320,099)
USD	Citibank N.A.	411,292	10/13/2021	JPY	45,647,410	2,148	-	2,148
USD	Citibank N.A.	298,156	10/13/2021	JPY	33,262,903	16	-	16
						\$ 2,164	\$ (320,099)	\$ (317,935)

NZドル・クラスの外国為替先渡取引残高 2021年9月30日現在(純資産の-0.0%)

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益 (損)
NZD	Citibank N.A.	5,885,432	10/13/2021	USD	4,192,118	\$ -	\$ (132,225)	\$ (132,225)
NZD	Citibank N.A.	70,095	10/13/2021	USD	49,773	-	(1,420)	(1,420)

USD	Citibank N.A.	278,264	10/13/2021	NZD	394,031	6,452	-	6,452
USD	Citibank N.A.	47,335	10/13/2021	NZD	68,796	-	(122)	(122)
						\$ 6,452	\$ (133,767)	\$ (127,315)

トルコ・リラ・クラスの外国為替先渡取引残高 2021年9月30日現在(純資産の-0.2%)

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益(損)
TRY	Citibank N.A.	47,033	10/13/2021	USD	5,446	\$ -	\$ (176)	\$ (176)
TRY	Citibank N.A.	112,264,324	10/13/2021	USD	13,228,543	-	(650,232)	(650,232)
TRY	Citibank N.A.	2,309,413	10/13/2021	USD	272,075	-	(13,324)	(13,324)
TRY	Citibank N.A.	127,593	10/13/2021	USD	14,826	-	(530)	(530)
TRY	Citibank N.A.	388,775	10/13/2021	USD	45,457	-	(1,898)	(1,898)
TRY	Citibank N.A.	186,102	10/13/2021	USD	21,745	-	(893)	(893)
TRY	Citibank N.A.	244,869	10/13/2021	USD	28,647	-	(1,211)	(1,211)
USD	Citibank N.A.	1,099,215	10/13/2021	TRY	9,476,822	37,414	-	37,414
USD	Citibank N.A.	15,259	10/13/2021	TRY	130,784	606	-	606
						\$ 38,020	\$ (668,264)	\$ (630,244)

南アフリカ・ランド・クラスの外国為替先渡取引残高 2021年9月30日現在(純資産の-0.1%)

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益(損)
USD	Citibank N.A.	133,947	10/13/2021	ZAR	1,919,787	\$ 6,511	\$ -	\$ 6,511
ZAR	Citibank N.A.	94,035,818	10/13/2021	USD	6,546,317	-	(304,195)	(304,195)
ZAR	Citibank N.A.	618,942	10/13/2021	USD	43,144	-	(2,058)	(2,058)
ZAR	Citibank N.A.	780,026	10/13/2021	USD	53,874	-	(2,096)	(2,096)
						\$ 6,511	\$ (308,349)	\$ (301,838)

中央清算される金利スワップ取引残高 2021年9月30日現在(純資産の-0.3%)

通貨	取引相手	想定元本	変動金利	固定金利 受取(支払)	終了日	支払(受取) プレミアム	評価益(損)	評価額
USD	Bank of America N.A.	4,000,000	3-Month USD-LIBOR	(1.976%)	05/28/2051	\$ (59,064)	\$ (103,510)	\$ (162,574)
USD	BNP Paribas S.A.	3,000,000	1 Day Overnight Federal Funds Effective Rate	0.150%	08/17/2025	314	(62,405)	(62,091)
USD	Citibank N.A.	5,000,000	1 Day Overnight Federal Funds Effective Rate	0.683%	11/03/2030	340	(224,704)	(224,364)
USD	Wells Fargo & Co.	7,500,000	1 Day Overnight Federal Funds Effective Rate	0.762%	12/04/2030	360	(289,642)	(289,282)

USD	Wells Fargo & Co.	7,500,000	1 Day Overnight Federal Funds Effective Rate	0.757%	01/05/2031	361	(304,280)	(303,919)	
							\$ (57,689)	\$ (984,541)	\$ (1,042,230)

中央清算されるクレジット・デフォルト・インデックス・スワップ取引残高 2021年9月30日現在(純資産の-0.0%)

通貨	取引相手	想定元本	プロテクション	参照対象	固定金利 受取(支払)	終了日	支払(受取) プレミアム	評価益 (損)	評価額
USD	Bank of America NA	3,650,000	Buy protection	Markit CDX North America	(5.000%)	06/20/2026	\$ (344,573)	\$ 2,698	\$ (341,875)
							\$ (344,573)	\$ 2,698	\$ (341,875)

信用売り 2021年9月30日現在(純資産の-3.2%)

証券の明細	元本	通貨	金利	満期日	売却代金	評価額
FNCL	(11,250,000)	USD	3.50%	11/01/2051	\$ (11,923,386)	\$ (11,911,157)
					\$ (11,923,386)	\$ (11,911,157)

買い現先取引残高 2021年9月30日現在(純資産の-5.3%)

取引相手	元本	通貨	利率	受渡日	満期日	借入金額	未払 買い現先取引
Bank of America N.A.	(9,762,500)	USD	0.06%	9/30/2021	10/1/2021	\$ (9,762,500)	\$ (9,763,034)
JP Morgan Chase N.A.	(9,763,000)	USD	0.09%	9/30/2021	10/1/2021	(9,763,000)	(9,763,024)
						\$ (19,525,500)	\$ (19,526,058)

通貨の略称

AUD - 豪ドル

EUR - ユーロ

GBP - 英ポンド

ILS - イスラエル・シケル

JPY - 日本円

NZD - ニュージーランド・ドル

TRY - トルコ・リラ

USD - 米ドル

ZAR - 南アフリカ・ランド

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2022年9月7日現在	2023年3月7日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	88,125,878	98,085,789
流動資産合計	88,125,878	98,085,789
資産合計	88,125,878	98,085,789
負債の部		
流動負債		
流動負債合計	-	-
負債合計	-	-
純資産の部		
元本等		
元本	1 88,294,563	98,301,680
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2 168,685	215,891
元本等合計	88,125,878	98,085,789
純資産合計	88,125,878	98,085,789
負債純資産合計	88,125,878	98,085,789

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

自 2022年9月8日
至 2023年3月7日
該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2022年9月7日現在	2023年3月7日現在
1. 1 期首	2022年3月8日	2022年9月8日
期首元本額	124,972,405円	88,294,563円
期中追加設定元本額	- 円	10,022,049円

期中一部解約元本額	36,677,842円	14,932円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ダイワ債券コア戦略ファンド (為替ヘッジあり)	999円	999円
ダイワ債券コア戦略ファンド (為替ヘッジなし)	999円	999円
通貨選択型ダイワ米国株主還 元株 クワトロプレミアム (毎月分配型)	219,583円	219,583円
通貨選択型ダイワ米国株主還 元株 クワトロプレミアム (年2回決算型)	24,953円	10,021円
ダイワ米国株主還元株ツイン プレミアム(毎月分配型)	848,389円	848,389円
ダイワ米国株主還元株ツイン プレミアム(年2回決算 型)	66,873円	66,873円
ダイワ米国株主還元株ファン ド	64,214円	64,214円
ダイワDBモメンタム戦略 ファンド(為替ヘッジあり)	6,592,748円	6,592,748円
ダイワDBモメンタム戦略 ファンド(為替ヘッジなし)	10,288,683円	10,288,683円
ダイワノバリュー・パート ナーズ・チャイナ・イノベ ーター・ファンド	10,000円	10,000円
世界M&A戦略株ファンド	1,001,302円	1,001,302円
ダイワ・ブラジル・リアル債 (毎月分配型) - スー パー・ハイインカム - 50 コース	49,911円	49,911円
ダイワ・ブラジル・リアル債 (毎月分配型) - スー パー・ハイインカム - 100 コース	49,911円	49,911円
S&P500(マルチアイ搭載)	66,079,892円	76,101,941円
ダイワ・スイス高配当株ツイ ン(毎月分配型)	2,996,106円	2,996,106円
計	88,294,563円	98,301,680円

2.	期末日における受益権の総数	88,294,563口	98,301,680口
3.	2 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は168,685円であります。	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は215,891円であります。

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2022年9月8日 至 2023年3月7日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、信用リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2023年3月7日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

2022年9月7日現在	2023年3月7日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2022年9月7日現在	2023年3月7日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	2022年9月7日現在	2023年3月7日現在
1口当たり純資産額	0.9981円	0.9978円
(1万口当たり純資産額)	(9,981円)	(9,978円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第15期計算期間（2022年9月8日から2023年3月7日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】

ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）

(1)【貸借対照表】

（単位：円）

	第14期 2022年9月7日現在	第15期 2023年3月7日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	18,436,603	17,244,872
投資信託受益証券	475,684,819	427,131,472
親投資信託受益証券	997	996
流動資産合計	494,122,419	444,377,340
資産合計		
494,122,419		
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	9,896,532	9,621,863
未払受託者報酬	70,024	64,046
未払委託者報酬	3,082,428	2,819,886
その他未払費用	20,917	19,145
流動負債合計	13,069,901	12,524,940
負債合計		
13,069,901		
純資産の部		
元本等		
元本	1 449,842,374	1 437,357,430
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2 31,210,144	2 5,505,030
（分配準備積立金）	48,776,220	44,301,930
元本等合計	481,052,518	431,852,400
純資産合計		
481,052,518		
負債純資産合計		
494,122,419		

(2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第14期 自 2022年3月8日 至 2022年9月7日	第15期 自 2022年9月8日 至 2023年3月7日
営業収益		
受取配当金	10,767,323	12,706,124
受取利息	29	19
有価証券売買等損益	43,248,187	37,259,472
営業収益合計	54,015,539	24,553,329
営業費用		
支払利息	1,389	2,199
受託者報酬	70,024	64,046
委託者報酬	3,082,428	2,819,886
その他費用	20,917	19,145
営業費用合計	3,174,758	2,905,276
営業利益又は営業損失()	50,840,781	27,458,605
経常利益又は経常損失()	50,840,781	27,458,605
当期純利益又は当期純損失()	50,840,781	27,458,605
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()	5,155,237	2,916,312
期首剰余金又は期首欠損金()	6,545,736	31,210,144
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,966,868	473,051
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,217,040	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	749,828	473,051
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	3,024,069
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	3,024,069
分配金	1 9,896,532	1 9,621,863
期末剰余金又は期末欠損金()	31,210,144	5,505,030

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第15期	
	自 2022年9月8日	至 2023年3月7日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)親投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>	
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資信託受益証券の配当落ち日において、確定配当金額を計上しております。</p>	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第14期	第15期
	2022年9月7日現在	2023年3月7日現在
1. 1 期首元本額	538,840,718円	449,842,374円
期中追加設定元本額	11,344,440円	33,476,723円
期中一部解約元本額	100,342,784円	45,961,667円
2. 計算期間末日における受益権の総数	449,842,374口	437,357,430口

3. 2 元本の欠損		貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は5,505,030円でありま す。
------------	--	---

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	第14期 自 2022年3月8日 至 2022年9月7日	第15期 自 2022年9月8日 至 2023年3月7日
1 分配金の計算過程	計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（10,066,825円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（27,670,485円）、投資信託約款に規定される収益調整金（7,683,498円）及び分配準備積立金（20,935,442円）より分配対象額は66,356,250円（1万口当たり1,475.10円）であり、うち9,896,532円（1万口当たり220円）を分配金額としております。	計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（9,801,054円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（10,770,243円）及び分配準備積立金（44,122,739円）より分配対象額は64,694,036円（1万口当たり1,479.20円）であり、うち9,621,863円（1万口当たり220円）を分配金額としております。

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	第15期 自 2022年9月8日 至 2023年3月7日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。

2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を通じて有価証券に投資しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第15期 2023年3月7日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種 類	第14期 2022年9月7日現在	第15期 2023年3月7日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	37,020,092	33,557,061
親投資信託受益証券	0	1
合計	37,020,092	33,557,062

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第14期 2022年9月7日現在	第15期 2023年3月7日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

第15期 自 2022年9月8日 至 2023年3月7日
市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第14期 2022年9月7日現在	第15期 2023年3月7日現在
1口当たり純資産額 （1万口当たり純資産額）	1.0694円 (10,694円)	0.9874円 (9,874円)

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
投資信託受益証券	DAIWA CORE BOND STRATEGY FUND - THE JPY NON-HEDGED CLASS UNIT	4,277,817.010	427,131,472	
投資信託受益証券 合計			427,131,472	
親投資信託受益証券	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	999	996	
親投資信託受益証券 合計			996	
合計			427,132,468	

投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドは、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（ノンヘッジ・クラス）」の受益証券（円建）を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

また、当ファンドは、「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同ファンドの状況及び当ファンドの計算期間末日（以下、「期末日」）における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ - ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド（ノンヘッジ・クラス）」の状況

前記「ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）」に記載のとおりであります。

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の状況

前記「ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）」に記載のとおりであります。

2【ファンドの現況】

ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）

【純資産額計算書】

2023年3月31日

資産総額	1,542,514,894円
負債総額	1,264,056円
純資産総額（ - ）	1,541,250,838円
発行済数量	1,910,734,390口
1単位当たり純資産額（ / ）	0.8066円

(参考) ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

純資産額計算書

2023年3月31日

資産総額	98,083,787円
負債総額	0円
純資産総額（ - ）	98,083,787円
発行済数量	98,301,680口
1単位当たり純資産額（ / ）	0.9978円

ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）

純資産額計算書

2023年3月31日

資産総額	475,801,462円
負債総額	363,821円
純資産総額（ - ）	475,437,641円
発行済数量	487,052,951口
1単位当たり純資産額（ / ）	0.9762円

(参考) ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

前記「ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）」の記載と同じ。

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 名義書換えの手続き等
該当事項はありません。

(2) 受益者に対する特典
ありません。

(3) 譲渡制限の内容
譲渡制限はありません。

(4) 受益証券の再発行

受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

(5) 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(6) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

(7) 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

受益権の再分割を行なうにあたり、各受益者が保有する受益権口数に1口未満の端数が生じることとなる場合には、当該端数を切り捨てるものとし、当該端数処理は口座管理機関ごとに行ないます。また、各受益者が保有することとなる受益権口数の合計数と、受益権の再分割の比率に基づき委託会社が計算する受益権口数の合計数との間に差が生じることとなる場合には、委託会社が計算する受益権口数を当該差分減らし、当該口数にかかる金額については益金として計上することとします。

(8) 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に支払います。

(9) 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1 【委託会社等の概況】

a. 資本金の額

2023年3月末日現在

資本金の額 151億7,427万2,500円

発行可能株式総数 799万9,980株

発行済株式総数 260万8,525株

過去5年間ににおける資本金の額の増減：該当事項はありません。

b. 委託会社の機構

会社の意思決定機構

業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。取締役は、株主総会において選任され、その任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでです。

取締役会は、4名以内の代表取締役を選定し、代表取締役は、会社を代表し、取締役会の決議にしたがい業務を執行します。

また、取締役、執行役員等から構成される経営会議は、経営全般にかかる基本的事項を審議し、決定します。経営会議は、分科会を設置し、専門的な事項についてはその権限を委ねることができます。

投資運用の意思決定機構

投資運用の意思決定機構の概要は、以下のとおりとなっています。

イ. 商品会議

ファンド設立時に経営会議の分科会である商品会議を開催し、ファンドの新規設定を決定します。

ロ. 商品担当役員

商品担当役員は、ファンド設立の趣旨に沿って、各ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を決定します。

ハ. 運用会議

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

ニ. 運用部長・ファンドマネージャー

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

ホ. リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

2 【事業の内容及び営業の概況】

委託会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務等の関連する業務を行なっています。

2023年3月末日現在、委託会社が運用を行なっている投資信託（親投資信託を除きます。）は次のとおりです。

基本的性格	本数（本）	純資産額の合計額（百万円）
単位型株式投資信託	95	342,454
追加型株式投資信託	779	21,519,615
株式投資信託 合計	874	21,862,069
単位型公社債投資信託	84	165,976
追加型公社債投資信託	14	1,365,455
公社債投資信託 合計	98	1,531,431
総合計	972	23,393,501

3【委託会社等の経理状況】

1．当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号。以下「中間財務諸表等規則」という。）並びに同規則第38条及び第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

2．当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第63期事業年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の財務諸表についての監査を、有限責任 あずさ監査法人により受けております。

また、第64期事業年度に係る中間会計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

3．財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(1)【貸借対照表】

(単位:百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	4,860	3,168
有価証券	333	486
前払費用	237	332
未収委託者報酬	13,150	13,811
未収収益	49	52
関係会社短期貸付金	18,700	24,900
その他	207	45
流動資産計	37,539	42,799
固定資産		
有形固定資産	1	203
建物	6	4

器具備品	218	198
無形固定資産	1,937	1,770
ソフトウェア	1,882	1,738
ソフトウェア仮勘定	54	31
投資その他の資産	16,121	16,617
投資有価証券	10,159	10,755
関係会社株式	3,705	3,705
出資金	183	177
長期差入保証金	1,068	1,067
繰延税金資産	973	885
その他	30	26
固定資産計	18,283	18,591
資産合計	55,822	61,390

(単位:百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	68	65
未払金	8,405	9,856
未払収益分配金	13	26
未払償還金	39	12
未払手数料	4,734	4,917
その他未払金	2	4,900
未払費用	3,777	4,246
未払法人税等	804	980
未払消費税等	631	1,016
賞与引当金	950	866
その他	88	2
流動負債計	14,725	17,033
固定負債		
退職給付引当金	2,452	2,399
役員退職慰労引当金	74	13
その他	3	1
固定負債計	2,530	2,415
負債合計	17,256	19,449
純資産の部		

株主資本		
資本金	15,174	15,174
資本剰余金		
資本準備金	11,495	11,495
資本剰余金合計	11,495	11,495
利益剰余金		
利益準備金	374	374
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	10,574	13,925
利益剰余金合計	10,948	14,299
株主資本合計	37,618	40,969
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	947	971
評価・換算差額等合計	947	971
純資産合計	38,566	41,941
負債・純資産合計	55,822	61,390

(2) 【損益計算書】

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	65,487	74,402
その他営業収益	419	545
営業収益計	65,906	74,948
営業費用		
支払手数料	27,965	31,234
広告宣伝費	624	650
調査費	8,245	9,104
調査費	1,134	1,252
委託調査費	7,110	7,851
委託計算費	1,501	1,729
営業雑経費	1,870	2,051
通信費	240	189
印刷費	478	468
協会費	51	46
諸会費	14	15
その他営業雑経費	1,084	1,331
営業費用計	40,207	44,768

一般管理費		
給料	5,991	5,948
役員報酬	351	306
給料・手当	4,293	4,281
賞与	395	493
賞与引当金繰入額	950	866
福利厚生費	893	867
交際費	32	46
旅費交通費	37	48
租税公課	472	527
不動産賃借料	1,302	1,300
退職給付費用	449	408
役員退職慰労引当金繰入額	28	10
固定資産減価償却費	661	606
諸経費	1,763	1,864
一般管理費計	11,631	11,628
営業利益	14,067	18,551

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業外収益		
投資有価証券売却益	578	327
有価証券償還益	42	40
その他	68	264
営業外収益計	689	631
営業外費用		
投資有価証券売却損	69	59
有価証券償還損	47	0
その他	24	34
営業外費用計	141	93
経常利益	14,616	19,089
特別損失		
システム刷新関連費用	547	-
関係会社整理損失	267	-
投資有価証券評価損	45	331
特別損失計	860	331
税引前当期純利益	13,756	18,757
法人税、住民税及び事業税	4,476	5,950
法人税等調整額	109	69

法人税等合計	4,366	6,019
当期純利益	9,389	12,738

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	11,749	12,123	38,793
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	△ 10,564	△ 10,564	△ 10,564
当期純利益	-	-	-	9,389	9,389	9,389
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	△ 1,175	△ 1,175	△ 1,175
当期末残高	15,174	11,495	374	10,574	10,948	37,618

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△ 363	△ 363	38,430
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	△ 10,564
当期純利益	-	-	9,389
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,311	1,311	1,311
当期変動額合計	1,311	1,311	136
当期末残高	947	947	38,566

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	15,174	11,495	374	10,574	10,948	37,618
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	△ 9,388	△ 9,388	△ 9,388
当期純利益	-	-	-	12,738	12,738	12,738
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	3,350	3,350	3,350
当期末残高	15,174	11,495	374	13,925	14,299	40,969

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	947	947	38,566
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	△ 9,388
当期純利益	-	-	12,738
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	24	24	24
当期変動額合計	24	24	3,374
当期末残高	971	971	41,941

注記事項

（重要な会計方針）

1．有価証券の評価基準及び評価方法

（1）子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

（2）その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2．固定資産の減価償却の方法

（1）有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物 10～18年

器具備品 4～20年

(2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年間）に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与及び上席参事についても、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

当社は証券投資信託の信託約款に基づき、証券投資信託の運用について履行義務を負っております。委託者報酬は、日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を受け取ります。当社が日々サービスを提供する時に当該履行義務が充足されるため、証券投資信託の運用期間にわたり収益を認識しております。

5. その他財務諸表作成のための基礎となる事項

(1) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(2) 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は、翌事業年度から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行することとなります。ただし、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

なお、翌事業年度の期首から、グループ通算制度を適用する場合における法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示の取扱いを定めた「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）を適用する予定であります。

(重要な会計上の見積り)

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これによる当事業年度の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度に係る「収益認識関係」注記については記載しておりません。

（未適用の会計基準等）

- ・「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日）

(1) 概要

投資信託の時価の算定及び注記に関する取扱い並びに貸借対照表に持分相当額を純額で計上する組合等への出資の時価の注記に関する取扱いが定められました。

(2) 適用予定日

2023年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」の適用による財務諸表に与える影響については、現時点で評価中であります。

（貸借対照表関係）

1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
建物	35百万円	37百万円
器具備品	259百万円	283百万円

2 関係会社項目

関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
未払金	3,473百万円	4,694百万円

3 保証債務

前事業年度（2021年3月31日）

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,727百万円に対して保証を行っております。

当事業年度（2022年3月31日）

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,900百万円に対して保証を行っております。

（株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1．発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

2．配当に関する事項

（1）配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の 総額（百万円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
2020年6月23日 定時株主総会	普通株式	10,564	4,050	2020年 3月31日	2020年 6月24日

（2）基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2021年6月22日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	9,388百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	3,599円
基準日	2021年3月31日
効力発生日	2021年6月23日

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1．発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

2．配当に関する事項

（1）配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年6月22日 定時株主総会	普通株式	9,388	3,599	2021年 3月31日	2021年 6月23日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2022年6月23日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	12,737百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,883円
基準日	2022年3月31日
効力発生日	2022年6月24日

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

証券投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられているためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、証券投資信託、株式であります。証券投資信託は事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されております。株式は上場株式、非上場株式、子会社株式並びに関連会社株式を保有しており、上場株式は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式、子会社株式及び関連会社株式は発行体の信用リスクに晒されております。関係会社短期貸付金は、親会社に対して貸付を行っているものであります。

未払手数料は証券投資信託の販売に係る代行手数料の未払額であります。その他未払金は主に連結納税の親会社へ支払う法人税の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に係る業務を委託したこと等により発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

市場リスクの管理

() 為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っております。

() 価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

2. 金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

貸借対照表計上額、時価並びにレベルごとの内訳等については、次のとおりであります。なお、2019年7月4日公表の企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(以下、「2019年適用指針」という。)第26項に従い経過措置を適用した有価証券、市場価格のない株式等は、次表には含めておりません。

また、金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

前事業年度(2021年3月31日)

(1) 時価をもって貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券(1)	85	-	-	85
資産合計	85	-	-	85

(1) 2019年適用指針第26項に従い経過措置を適用し、有価証券333百万円、投資有価証券9,406百万円は上記の表に含めておりません。

(2) 時価をもって貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、コマーシャル・ペーパー、未払金及び未払費用は、短期間(1年以内)で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

当事業年度(2022年3月31日)

(1) 時価をもって貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券(1)	66	-	-	66
資産合計	66	-	-	66

(1) 2019年適用指針第26項に従い経過措置を適用し、有価証券486百万円、投資有価証券10,022百万円は上記の表に含めておりません。

(2) 時価をもって貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、関係会社短期貸付金、未払金及び未払費用は、短期間（１年以内）で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（注１）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

投資有価証券

株式は活発な市場における無調整の相場価格を利用できることから、その時価をレベル１に分類しております。なお、2019年適用指針第26項に従い経過措置を適用している有価証券は、公表されている基準価額によっていることからレベルを付していません。保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項（有価証券関係）をご参照下さい。

（注２）市場価格のない株式等の貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項で開示している表中の投資有価証券には含めておりません。

（単位：百万円）

区分	前事業年度	当事業年度
非上場株式等	666	666
子会社株式	1,677	1,677
関連会社株式	2,027	2,027

（有価証券関係）

１．子会社株式及び関連会社株式

前事業年度（2021年3月31日）

子会社株式（貸借対照表計上額 1,677百万円）及び関連会社株式（貸借対照表計上額 2,027百万円）は、市場価格がないことから、記載していません。

当事業年度（2022年3月31日）

子会社株式（貸借対照表計上額 1,677百万円）及び関連会社株式（貸借対照表計上額 2,027百万円）は、市場価格がないことから、記載していません。

２．その他有価証券

前事業年度（2021年3月31日）

	貸借対照表計上額 （百万円）	取得原価 （百万円）	差額 （百万円）
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
（１）株式	85	55	30
（２）その他	7,179	5,697	1,481
小計	7,265	5,752	1,512
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	2,561	2,721	160
小計	2,561	2,721	160
合計	9,826	8,474	1,352

(注)非上場株式(貸借対照表計上額 666百万円)については、市場価格がないことから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当事業年度(2022年3月31日)

	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1)株式	66	55	11
(2)その他	6,755	4,917	1,838
小計	6,822	4,972	1,850
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	3,753	4,208	454
小計	3,753	4,208	454
合計	10,575	9,180	1,395

(注)非上場株式(貸借対照表計上額 666百万円)については、市場価格がないことから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 売却したその他有価証券

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1)株式	-	-	-
(2)その他 証券投資信託	5,353	578	69
合計	5,353	578	69

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1)株式	-	-	-
(2)その他 証券投資信託	1,719	327	59
合計	1,719	327	59

4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、関係会社株式について267百万円、証券投資信託について45百万円の減損処理を行っております。

当事業年度において、証券投資信託について331百万円の減損処理を行っております。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、非積立型の確定給付制度(退職一時金制度であります)及び確定拠出制度を採用しております。

2. 確定給付制度

(1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	前事業年度		当事業年度	
	(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
退職給付債務の期首残高	2,574	百万円	2,452	百万円
勤務費用	155		152	
退職給付の支払額	378		303	
その他	101		98	
退職給付債務の期末残高	2,452		2,399	

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	前事業年度		当事業年度	
	(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
非積立型制度の退職給付債務	2,452	百万円	2,399	百万円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	2,452		2,399	
退職給付引当金	2,452		2,399	
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	2,452		2,399	

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	前事業年度		当事業年度	
	(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
勤務費用	155	百万円	152	百万円
その他	108		67	
確定給付制度に係る退職給付費用	263		219	

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度186百万円、当事業年度189百万円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

(単位：百万円)

	前事業年度		当事業年度	
	(2021年3月31日)		(2022年3月31日)	
繰延税金資産				
退職給付引当金	750		734	
賞与引当金	243		227	

未払事業税	170	213
投資有価証券評価損	128	144
システム関連費用	155	111
出資金評価損	94	94
その他	298	437
繰延税金資産小計	1,841	1,963
評価性引当額	254	356
繰延税金資産合計	1,586	1,607
繰延税金負債		
連結法人間取引（譲渡益）	159	159
その他有価証券評価差額金	453	562
繰延税金負債合計	612	722
繰延税金資産の純額	973	885

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

前事業年度（2021年3月31日）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

当事業年度（2022年3月31日）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（収益認識関係）

（1）顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、証券投資信託に関する運用その他の業務を行っております。営業収益の内訳は、証券投資信託に関する運用に係る業務が74,402百万円、その他545百万円であります。

（2）収益を理解するための基礎となる情報

（重要な会計方針）の4.収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

（3）顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

[関連情報]

1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

内国籍証券投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

属性	会社等の名称	住所	資本金または出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	㈱大和証券グループ本社	東京都千代田区	247,397	証券持株会社業	被所有 100.0	あり	経営管理	資金の貸付 利息の受取(注)	19,300 0	関係会社短期貸付金	18,700 -

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 貸付利息については市場金利を勘案して合理的に決定し、返済期間は1年以内としております。なお、担保は受け入れておりません。

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

属性	会社等の名称	住所	資本金または出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	(株)大和証券グループ本社	東京都千代田区	247,397	証券持株会社業	被所有 100.0	あり	経営管理	資金の貸付 利息の受取(注)	19,000 0	関係会社短期貸付金 受取利息関係会社	24,900 0

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 貸付利息については市場金利を勘案して合理的に決定し、返済期間は1年以内としております。なお、担保は受け入れておりません。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore)Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	所有 直接100.0	経営管理	債務保証 (注)	1,727	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore)Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	所有 直接100.0	経営管理	債務保証 (注)	1,900	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

(ウ) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

属性	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売 本社ビルの管理	証券投資信託の代行手数料(注2)	14,917	未払手数料	3,321
							不動産の賃借料(注4)	527	長期差入保証金	1,054
同一の親会社をもつ会社	株大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	883	未払費用	179
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	527	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2) 証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3) ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4) 差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

属性	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
----	--------	-----	-------------------	-------	-----------------------	-----------	-------	---------------	----	---------------

同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売 本社ビルの管理	証券投資信託の代行手数料(注2) 不動産の賃借料(注3)	15,348 1,062	未払手数料 長期差入保証金	3,028 1,054
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研	東京都江東区	3,898	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発・保守	ソフトウェアの購入・保守(注4)	1,065	未払費用	91

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2) 証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3) 差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し交渉の上、決定しております。

(注4) ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

2. 親会社に関する注記

株式会社大和証券グループ本社(東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場)

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
1株当たり純資産額	14,784.79円	1株当たり純資産額	16,078.50円
1株当たり当期純利益	3,599.54円	1株当たり当期純利益	4,883.43円

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益(百万円)	9,389	12,738
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525	2,608,525

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

		当中間会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金		3,876
有価証券		498
未収委託者報酬		12,633
関係会社短期貸付金		16,600
その他		557
流動資産合計		34,165
固定資産		
有形固定資産	1	196
無形固定資産		
ソフトウェア		1,443
その他		141
無形固定資産合計		1,584
投資その他の資産		
投資有価証券		7,533
関係会社株式		3,482
繰延税金資産		887
その他		1,267
投資その他の資産合計		13,170
固定資産合計		14,950
資産合計		49,116

(単位:百万円)

		当中間会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金		5,646

未払費用	4,193
未払法人税等	1,623
賞与引当金	486
その他	2 655
流動負債合計	12,605
固定負債	
退職給付引当金	2,344
役員退職慰労引当金	33
その他	1
固定負債合計	2,379
負債合計	14,984
純資産の部	
株主資本	
資本金	15,174
資本剰余金	
資本準備金	11,495
資本剰余金合計	11,495
利益剰余金	
利益準備金	374
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	6,692
利益剰余金合計	7,067
株主資本合計	33,737
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	394
評価・換算差額等合計	394
純資産合計	34,131
負債・純資産合計	49,116

(2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

	当中間会計期間
	(自 2022年4月1日
	至 2022年9月30日)
営業収益	
委託者報酬	35,926
その他営業収益	281

営業収益合計		36,208
営業費用		
支払手数料		15,088
その他営業費用		6,970
営業費用合計		22,059
一般管理費	1	5,766
営業利益		8,382
営業外収益	2	579
営業外費用	3	274
経常利益		8,686
特別利益		-
特別損失	4	460
税引前中間純利益		8,226
法人税、住民税及び事業税		2,472
法人税等調整額		248
中間純利益		5,505

(3) 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	15,174	11,495	374	13,925	14,299	40,969
当中間期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	12,737	12,737	12,737
中間純利益	-	-	-	5,505	5,505	5,505
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額（純額）	-	-	-	-	-	-
当中間期変動額合計	-	-	-	7,232	7,232	7,232
当中間期末残高	15,174	11,495	374	6,692	7,067	33,737

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	971	971	41,941
当中間期変動額			
剰余金の配当	-	-	12,737
中間純利益	-	-	5,505
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	576	576	576
当中間期変動額合計	576	576	7,809
当中間期末残高	394	394	34,131

注記事項

（重要な会計方針）

1．有価証券の評価基準及び評価方法

（1）子会社及び関連会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

（2）その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2．固定資産の減価償却の方法

（1）有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	10～18年
器具備品	4～20年

（2）無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年間）に基づく定額法によっております。

3．引当金の計上基準

（1）賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与及び上席参事についても、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は以下のとおりであります。

当社は証券投資信託の信託約款に基づき、証券投資信託の運用について履行義務を負っております。委託者報酬は、日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を受け取ります。当社が日々サービスを提供する時に当該履行義務が充足されるため、証券投資信託の運用期間にわたり収益を認識しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当中間会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。この変更による当中間財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社は、当中間会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(中間貸借対照表関係)

1 減価償却累計額

	当中間会計期間 (2022年9月30日現在)
有形固定資産	326百万円

2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

3 保証債務

当中間会計期間(2022年9月30日現在)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務2,122百万円に対して保証を行っております。

(中間損益計算書関係)

1 減価償却実施額

	当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
有形固定資産	11百万円
無形固定資産	302百万円

2 営業外収益の主要項目

	当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資有価証券売却益	268百万円
有価証券償還益	149百万円
為替差益	114百万円

3 営業外費用の主要項目

	当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資有価証券売却損	244百万円

4 特別損失の項目

	当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資有価証券評価損	237百万円
関係会社整理損失	222百万円

(中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：千株)

	当事業年度期首 株式数	当中間会計期間 増加株式数	当中間会計期間 減少株式数	当中間会計期間末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2022年6月23日 定時株主総会	普通株式	12,737	4,883	2022年3月31日	2022年6月24日

(金融商品関係)

当中間会計期間(2022年9月30日)

金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額並びにレベルごとの内訳等については、次のとおりであります。また、金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価をもって中間貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券及び投資有価証券	57	7,306	-	7,364
資産合計	57	7,306	-	7,364

(2) 時価をもって中間貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、短期貸付金、未払金及び未払費用は、短期間（1年以内）で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（注1）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

株式は活発な市場における無調整の相場価格を利用できることから、その時価をレベル1に分類しております。当社が保有している証券投資信託は基準価額を用いて評価しており、当該基準価額は活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2に分類しております。保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項（有価証券関係）をご参照下さい。

（注2）市場価格のない株式等の中間貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項で開示している表中の投資有価証券には含めておりません。

（単位：百万円）

区分	当中間会計期間
非上場株式等	666
子会社株式	1,454
関連会社株式	2,027

（有価証券関係）

当中間会計期間（2022年9月30日）

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式（中間貸借対照表計上額 1,454百万円）及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 2,027百万円）は、市場価格がないことから、記載しておりません。

2. その他有価証券

	中間貸借対照表 計上額（百万円）	取得原価 （百万円）	差額 （百万円）
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
（1）株式	57	55	2
（2）その他	4,614	3,570	1,043
小計	4,671	3,625	1,046
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	2,692	3,171	478
小計	2,692	3,171	478
合計	7,364	6,797	567

（注）非上場株式（中間貸借対照表計上額 666百万円）については、市場価格がないことから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

〔収益認識関係〕

（１）顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、証券投資信託に関する運用その他の業務を行っております。営業収益の内訳は、証券投資信託に関する運用に係る業務が35,926百万円、その他281百万円であります。

（２）収益を理解するための基礎となる情報

（重要な会計方針）の４．収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

（３）顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当中間会計期間末において存在する顧客との契約から当中間会計期間の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

〔セグメント情報等〕

〔セグメント情報〕

当中間会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

〔関連情報〕

当中間会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（１）営業収益

内国籍証券投資信託又は本邦顧客からの営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

（２）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

〔報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報〕

当中間会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当中間会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当中間会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
1株当たり純資産額	13,084.78円
1株当たり中間純利益	2,110.46円

(注1) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2) 1株当たり中間純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
中間純利益(百万円)	5,505
普通株式に係る中間純利益(百万円)	5,505
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行なうこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

a. 定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

2022年4月1日付で、定款について次の変更を致しました。

- ・ 監査役の人数の変更（4名以内から5名以内に変更）

b. 訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実

訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

	名 称	資本金の額 (2022年03月末日現在)	事業の内容	備考
受託会社	みずほ信託銀行株式会社	247,369百万円	(注6)	
再信託受託会社	株式会社日本カスト ディ銀行	51,000百万円	(注6)	
販売会社	大和証券株式会社	100,000百万円	(注1)	

(注1) 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

(注2) 主として中小企業向け融資業を営んでいます。

(注3) 銀行法に基づき銀行業を営んでいます。

(注4) 全国の信用金庫の中央金融機関として、信用金庫の余裕資金の効率運用と信用金庫間の資金の需給調整、信用金庫業界の信用力の維持向上および業務機能の補完を図っています。

(注5) 協同組合による金融事業に関する法律に基づき金融事業を営んでいます。

(注6) 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(注7) 信用金庫法に基づく金融業を営んでいます。

(注8) 保険業法に基づき損害保険業を営んでいます。

(注9) 保険業法に基づき生命保険業を営んでいます。

(注10) 全国の農業協同組合、漁業協同組合、森林組合などの協同組織の全国金融機関として、余裕資金の効率運用と資金の需給調整、当該協同組織の信用力の維持向上及び業務機能の補完を図っています。

(注11) 労働金庫連合会は、労働金庫法に基づき設立された労働金庫の系統中央金融機関です。

(注12) 農業協同組合法に基づき信用事業等を営んでいます。

2【関係業務の概要】

受託会社は、信託契約の受託者であり、委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分、信託財産の計算等を行ないます。なお、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。

再信託受託会社は、受託会社と再信託契約を締結し、信託事務の一部（信託財産の管理等）を行ないます。

販売会社は、受益権の募集の取扱い、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金・償還金・一部解約金の支払いに関する事務等を行ないます。

3【資本関係】

該当事項はありません。

第3【その他】

(1) 目論見書の表紙から本文の前までの記載等について

- ・ 金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書である旨を記載することがあります。
 - ・ 目論見書の別称として「投資信託説明書(交付目論見書)」または「投資信託説明書(請求目論見書)」という名称を用いることがあります。
 - ・ 委託会社等の情報、受託会社に関する情報を記載することがあります。
 - ・ 詳細な情報の入手方法として、以下の事項を記載することがあります。
 - 委託会社のホームページアドレス、電話番号及び受付時間等
 - 請求目論見書の入手方法及び投資信託約款が請求目論見書に掲載されている旨
 - ・ 使用開始日を記載することがあります。
 - ・ 届出の効力に関する事項について、次に掲げるいずれかの内容を記載することがあります。
 - 届出をした日及び当該届出の効力の発生の有無を確認する方法
 - 届出をした日、届出が効力を生じている旨及び効力発生日
 - ・ 次の事項を記載することがあります。
 - 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨
 - 請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨及び当該請求を行った場合にはその旨の記録をしておくべきである旨
 - 「ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。」との趣旨を示す記載
 - ・ 委託会社、当ファンドのロゴ・マーク等を記載することがあります。
 - ・ ファンドの形態等を記載することがあります。
 - ・ 図案を採用することがあります。
 - ・ ファンドの管理番号等を記載することがあります。
 - ・ 委託会社のインターネットホームページのアドレスに加え、他のインターネットのアドレス(当該アドレスをコード化した図形等も含みます。)を掲載することがあります。
 - ・ UD FONT マークおよび説明文を記載することがあります。
- (2) 当ファンドは、評価機関等の評価を取得、使用する場合があります。
- (3) 交付目論見書に最新の運用実績を記載することがあります。
- (4) 請求目論見書に当ファンドの投資信託約款の全文を記載します。

独立監査人の監査報告書

2022年5月23日

大和アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員	公認会計士	間瀬	友未
業務執行社員			
指定有限責任社員	公認会計士	深井	康治
業務執行社員			

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和アセットマネジメント株式会社の2021年4月1日から2022年3月31日までの第63期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大和アセットマネジメント株式会社の2022年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2023年4月21日

大和アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	深井 康治
--------------------	-------	-------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	竹内 知明
--------------------	-------	-------

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）の2022年9月8日から2023年3月7日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）の2023年3月7日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、大和アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか

か検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

大和アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2023年4月21日

大和アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 深井 康治指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 竹内 知明**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）の2022年9月8日から2023年3月7日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）の2023年3月7日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、大和アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか

か検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

大和アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2022年11月28日

大和アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	間瀬 友未
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	深井 康治

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和アセットマネジメント株式会社の2022年4月1日から2023年3月31日までの第64期事業年度の中間会計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、大和アセットマネジメント株式会社の2022年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。